

改訂  
增補  
健康保險法規疑義事項解釋  
社會局保險部編

14.7  
4024



0035402-000

14.7-4024

健康保險法規疑義事項解釋

社会局保險部・編

産業福利協会

改訂増補  
昭和4

AGD



社會局

健康保險法規定事項之解釋

產業福利協會





社會局保險部編纂

改訂  
増補

健康保險法規疑義事項解釋

健康保險法ニ關スル疑義ニ付昭和四年十月迄ニ定マレテ解釋ノ主ナルモノヲ彙集セ  
 ル解釋中法令ノ改正ニ依リ當然變更スヘキモノ又ハ字句ノ違當ナラサルモノ  
 相當ノ變更ヲ加ヘテ彙集セリ

昭和四年八月一日以降ハ地方長官(市長、町長、村長)ノ  
 裁量ニ依リ、道府縣廳、(東京府ニ在リテハ會政廳)ヲ指スモノトス

「法例條」, 「令例條」, 「(附例條)」ノ如ク記載セルハ各例法文ヲ示シタルモノ  
 ニシテ其ノ「法」トアルハ「健康保險法」, 「令」トアルハ「健康保險法施行令」ニ指シタルモノ  
 「健康保險法施行規則」ヲ指シタルモノ

昭和四年十月

社會局保險部

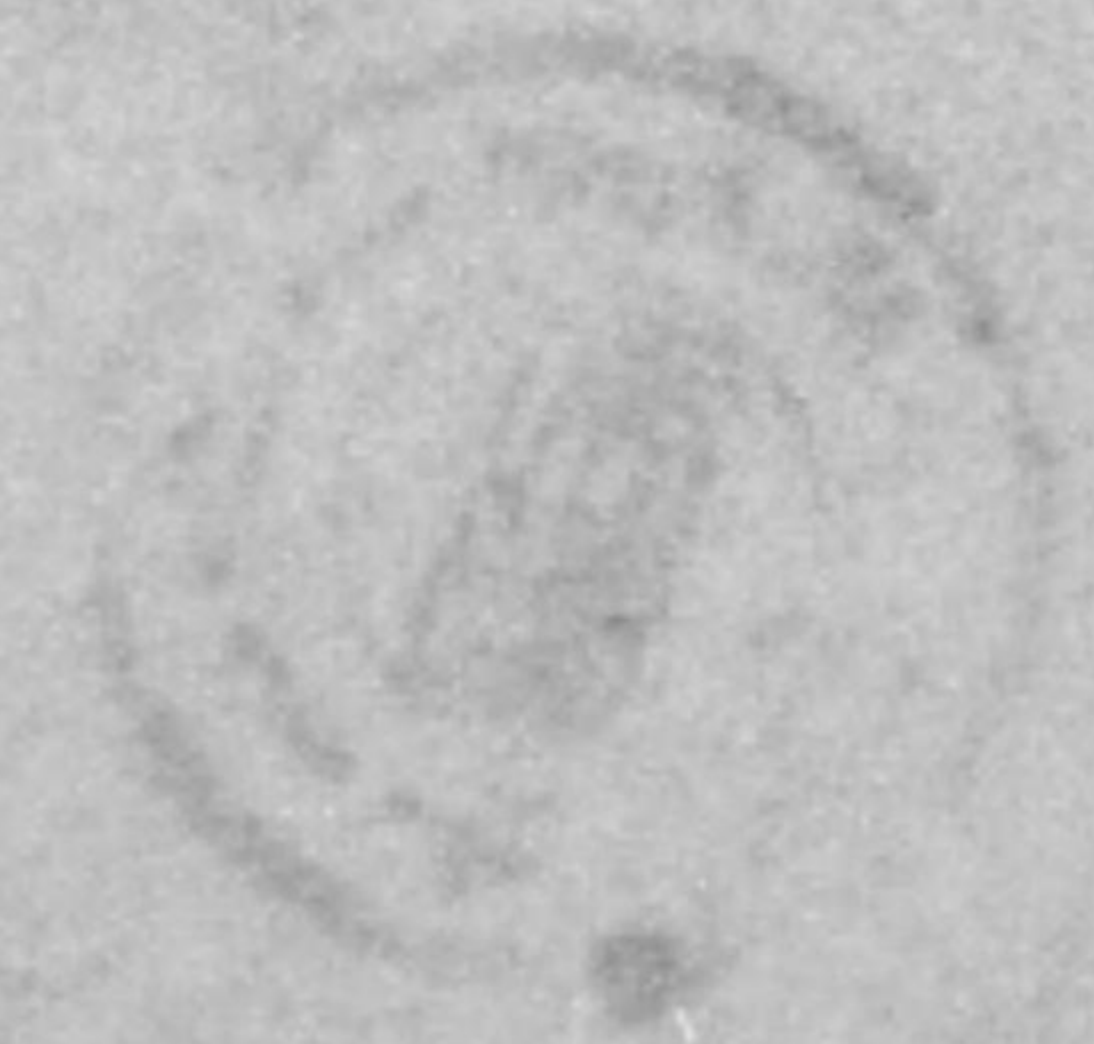






東京府警察局長 東京府警察局長 東京府警察局長

東京府警察局長 東京府警察局長 東京府警察局長



14.7-4021

### 例言

- 一、本書ハ健康保險法令ニ關スル疑義ニ付昭和四年十月迄ニ定マレル解釋ノ主ナルモノヲ登載セリ
- 一、従前發表セル解釋中法令ノ改正ニ依リ當然變更スヘキモノ又ハ字句ノ適當ナラサルモノハ本書ニ於テハ相當ノ變更ヲ加ヘテ登載セリ
- 一、數回ニ亘リテ發シタル通牒又ハ回答ニ付テハ便宜之ヲ一括シテ登載シタルモノアリ
- 一、解釋文中健康保險署長又ハ健康保險署トアルハ昭和四年八月一日以降ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）、道府縣廳、（東京府ニ在リテハ警視廳）ヲ指スモノトス
- 一、標題ノ下ニ「法何條」、「令何條」、「則何條」ノ如ク記載セルハ參照法文ヲ示シタルモノニシテ其ノ「法」トアルハ「健康保險法」、「令」トアルハ「健康保險法施行令」、「則」トアルハ「健康保險法施行規則」ノ略稱ナリ

昭和四年十月

社會局保險部







昭和四年十月

「國語教育法」

「國語教育法」

「國語教育法」

「國語教育法」

「國語教育法」

「國語教育法」

「國語教育法」

「國語教育法」

「國語教育法」

「國語教育法」

附言

目次

○健康保険法

第三十四條... 第三十二條... 第三十條... 第二十八條... 第二十六條... 第二十四條... 第二十二條... 第二十條... 第十八條... 第十六條... 第十四條... 第十三條















第八十二條	三〇四
第八十三條	三〇五
第八十四條	三〇六
第八十五條	三〇八
第八十八條	三〇八
第八十九條	三〇〇
第九十條	三〇〇
第九十一條	三〇一
第九十三條	三〇一
第九十八條	三〇二
第一百條	三〇二
第一百八條	三〇七
第一百十三條	三〇七

○健康保險法施行規則

第一百十四條	三〇六
第一百十五條	三〇八
第一百十六條	三〇九
第二百二十二條	三〇九
第三十六條	三一一
第六十八條	三二一
第六十條	三二三
第七十二條	三二五
第七十八條	三二六
第二十六條	三二六
第三十六條	三二七
第四十四條	三二七











# 健康保險法

## 第一條

被保險者資格存續中ト保險給付

(法四七條、六〇條等)

被保險者ノ資格ノ存スル間ハ保險事故アラハ保險給付ヲ爲スヘキモノトス但シ法定日數ノ超過其ノ他ノ特別ノ場合(法第六十條乃至第六十四條、第六十五條第二項ノ場合ノ如シ)ニ於テハ給付ヲ爲ササルコトアルハ勿論トス(昭和二年八月十八日附保第一三六六四號ヲ以テ保險部長ヨリ明電令健康保險組合宛回答)

被保險者資格取得届出前ニ於ケル資格存在當時ノ保險事故ニシテ給付請求權消滅時效完成前ノモノノ給付

被保險者資格取得届出前ニ於ケル資格存在當時ノ保險事故ニ付テモ保險給付請求權ノ消滅時效完成前ノモノハ給付ヲ爲スヘキモノトス(昭和三年十一月十二日附保發第七



即〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

### 素行修マラサル被保險者ト保險給付

素行修マラス又ハ行動不都合ナル被保險者ト雖保險者ハ此ノ者ニ對シ保險給付ヲ爲ササルコトヲ得ス (昭和二年二月十九日附保理第八二六號ヲ以テ保險部長ヨリ明治紡織健康保險組合宛回答)

### 被保險者タラサル者ヲ誤リテ被保險者トシテ取扱ヒタル場合ニ於テ既ニ納付シタル保險料及爲シタル給付 (法一三條等)

被保險者タラサル者ヲ誤リテ被保險者トシテ取扱ヒタル場合ニ於テハ民法第三編第四章不當利得ニ關スル規定ニ依リ被保險者トシテ取扱ヒタル當時ニ於ケル既ニ納付シタル保險料ハ之ヲ還付シ又既ニ爲シタル給付ハ之ヲ返還セシムヘキモノトス而シテ此ノ場合ニ於ケル給付カ療養ノ給付又ハ産院收容若ハ助産ノ手當ナルトキハ之ヲ金額ニ換算シテ返還セシムヘキモノトス (昭和二年五月二十日附保理第二〇〇

五號ヲ以テ保險部長ヨリ豊田紡織健康保險組合宛回答)

### 健康保險法ニ依ル給付ト工場法ニ依ル扶助トノ關係

(工場法施行令一三條ノ二)

職工カ業務上ノ事由ニ因ル疾病ニ罹リ又ハ負傷ヲ爲シタル場合ニ於テハ先ツ健康保險法ニ依リテ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ爲シ其ノ間ハ工場法ニ依ル扶助ヲ爲ササルモノトス (昭和二年六月二十一日附ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ吉見紡織健康保險組合宛回答)

### 保險給付ノ請求ト被保險者ノ代理人

健康保險法ニ於テハ被保險者ニ付代理人ヲ認メタル規定ナキヲ以テ保險給付ノ請求ハ本人ヨリ爲スヘキモノトス然レトモ現金ノ受領ハ代理人ニ於テ爲スモ支障ナキモノト認メラル (昭和二年三月二十日附保理第五七二號ヲ以テ保險部長ヨリ凸版印刷健康保險組合宛回答)

### 健康保險法 第二條

健康保險法 第一條、第二條



報酬ト公傷病ニ因ル休業扶助料等 (令一條、工場法施行令六條)

法第二條第一項ノ「勞務ノ對價トシテ」トアルハ「勞務ニ服スルカ爲之カ對價トシテ」ト解スヘキ義ニシテ公傷病ニ因ル休業扶助料又ハ産婦扶助料ノ如キハ健康保險ノ所謂報酬ノ範圍ニ屬セサルモノトス (大正十五年九月十六日附號外ヲ以テ保險部監理課長ヨリ某官廳宛回答)

報酬ト恩給

健康保險ニ於ケル報酬ニハ恩給ヲ含マサルモノトス (昭和二年二月二十二日附保理第三二八號ヲ以テ保險部ヨリ神奈川縣横濱市久保町東洋電機製造株式會社岩切矢一宛回答)

傷病手當金ト報酬トノ關係 (法四五條)

傷病手當金ハ健康保險法ニ規定スル報酬ト全然異ルヲ以テ被保險者カ休業中傷病手當金ヲ受クルコトヲ報酬ヲ受クルコトト同様ニ認ムルハ違法トス (昭和二年四月十八日附保理第一、八〇三號ヲ以テ保險部長ヨリ淺野セメント川崎工場健康保險組合宛回答)

第三條

法第三條ノ標準報酬ト法第四十五條ノ報酬日額トノ異同 (法四五條)

法第三條第一項ノ「標準報酬」ト法第四十五條ノ「報酬日額」トハ孰レモ標準報酬日額ヲ指ス義ナルカ故ニ傷病手當金ノ額モ標準報酬日額ニ依ルモノトス (昭和二年三月十八日附保理第一、二四七號ヲ以テ保險部長ヨリ長野縣諏訪郡平野村山十製絲株式會社鈴木秀宛回答)

第四條

保險料其ノ他ノ徵收金ノ徵收權消滅時効ノ起算日 (法七九條、令一〇〇條、一〇一條)

保險料其ノ他ノ徵收金ノ徵收權消滅時効ノ起算日ハ左ニ依ルモノトス

- 一 保險料ニ在リテハ其ノ保險料ノ納期限ノ翌日
- 二 保險料以外ノ徵收金ニ在リテハ徵收金ヲ徵收スヘキ原因タル事實ノ終リタル日ノ翌日 (昭和三年七月六日附保發第五一四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒) 尙督促手数料ニ付テハ督促狀ニ指定シタル期限ノ翌日、延滞金ニ付テハ督促狀ニ指定



シタル期間前ノ事實ニ對スルモノハ其ノ期限ノ翌日、ソノ他ハ本通牒ノ二ニ依ルモノトス

保險料其ノ他ノ徴收金ノ還付請求權消滅時効ノ起算日 (法七六條)

保險料其ノ他ノ徴收金ノ還付請求權消滅時効ノ起算日ハ左ニ依ルモノトス

一 保險料ニ在リテハ左ノ通

イ 法第七十六條第一號ニ該當シタル爲過納又ハ誤納ト爲リタルモノニ在リテ

ハ傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給決定通知ノ到達シタル日ノ翌日

ロ 法第七十六條第二號ニ該當シタル爲過納又ハ誤納ト爲リタルモノニ在リテ

ハ過納又ハ誤納ト爲リタル日ノ翌日

ハ右イ及ロ以外ノ事由ニ基キ過納又ハ誤納ト爲リタルモノ(即チ健康保險

署又ハ健康保險組合ニ於テ調定ヲ誤リテ過分ニ徴收シ又ハ徴收スヘカラサル

去來三箇月ノ徴收シタル場合ノ如シ)ニ在リテハ其ノ保險料ヲ納付シタル日ノ翌日

二 保險料以外ノ徴收金ニ在リテハ納付シタル日ノ翌日 (昭和三年七月六日附保發第五

一四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

被保險者資格得喪届出遲滞ノ場合ニ於テ保險料等ヲ徴收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利  
及保險給付ヲ受クル權利ノ消滅時効

被保險者資格ノ取得又ハ喪失ノ届出遲滞シ保險者ニ於テ得喪ノ事實ヲ知ラサル場  
合ニ於テモ既ニ法律上資格ノ得喪アリタル以上保險料其ノ他健康保險法ノ規定ニ  
依リ徴收金ノ徴收又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及保險給付ヲ受クル權利ノ消滅時効  
ハ進行スルモノニシテ其ノ消滅時効ノ起算日ハ一般ノ被保險者ノ場合ニ於ケルモ  
ノト異ラサルモノトス (昭和三年十一月十二日附保發第七四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署

長及各健康保險組合宛通牒)

被保險者タラサル者ヲ被保險者トシテ取扱ヒタル場合ニ於ケル保險料還付請求權消滅  
時効ノ起算日

被保險者タラサル者ヲ誤リテ被保險者トシテ取扱ヒタル場合ニ於ケル保險料ノ還



付請求權ノ消滅時効ハ法第四條ニ依リテ一年ヲ以テ完成スルモノニシテ之カ起算日ハ保險料ヲ納付シタル日ノ翌日トス (昭和三年十二月二十六日附保理第二、九一九號ヲ以テ  
保險部長ヨリ愛知健康保險署長宛回答)

消滅時効ノ完成セル保險料其ノ他ノ徵收金ヲ納付セル場合ト之カ徵收

時効ハ當事者之ヲ援用スルニ非サレハ效力ナキモノナルヲ以テ既ニ消滅時効ノ完

成セル保險料其ノ他ノ徵收金ト雖事業主又ハ任意繼續被保險者ヨリ納付セム之ヲ

徵收シ差支ナキモノトス (昭和三年十一月十二日附保發第七四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保

險署長及各健康保險組合宛通牒)

保險給付請求權ノ消滅時効ノ起算日

保險給付請求權ノ消滅時効ノ起算日ハ左ニ依ルモノトスハ其ノ要件モ受ルニ對シ

療養費

一 傷病治愈ノ日ノ翌日(給付期間滿了ノモノニ在リテハ給付期間滿了ノ日ノ翌日)

傷病手當金

支給期日ノ定メナキモノ(請求ノ都度之ヲ支給スルモノ)ニ在リテハ勞務可能ト

ナリタル日ノ翌日又ハ給付期間滿了ノ日ノ翌日

支給期日ノ定メアルモノニ在リテハ勞務可能トナリタル日後直近支給期日ノ翌

日(給付期間滿了ノモノニ在リテハ給付期間滿了ノ日後直近支給期日ノ翌日)

出産手當金

支給期日ノ定メナキモノ(請求ノ都度之ヲ支給スルモノ)ニ在リテハ産後勞務ニ

従事シタル日ノ翌日(但シ勞務ニ従事セスシテ産後四十二日ノ期間ヲ經過シタ

ル場合ニ在リテハ四十二日ノ期間滿了ノ日ノ翌日)ヨリ請求又ハ給付請求ヲ受ケ

支給期日ノ定メアルモノニ在リテハ産後勞務ニ従事シタル日ノ直近支給期日ノ

翌日(但シ勞務ニ従事セスシテ産後四十二日ノ期間ヲ經過シタル場合ニ在リテ

ハ四十二日ノ期間滿了ノ日後直近支給期日ノ翌日)







又ハ誓約書ヲ徴シタル時ハ民法第四百七十七條第三號ニ規定セル承認ヲ爲シタルモノトシテ時効中斷ノ效力ヲ有スルモノトス(昭和四年五月二十七日附保第一、七二六號ヲ以テ保險部長ヨリ福島健康保險署長宛回答)

市町村ニ對シ滯納處分請求後保險者ニ於テ直接滯納者ニ對シテ爲シタル請求ト時効ノ中斷(法四條、民法一四七條、一五三條)

市町村ニ對シ滯納處分請求後保險者ニ於テ直接滯納者ニ對シ請求シタル場合ハ民法第四百七十七條及百五十三條ノ規定ニ依リ時効中斷ノ效力ヲ生スヘキモノトス(昭和四年五月二十七日附保第一、七二六號ヲ以テ保險部長ヨリ福島健康保險署長宛回答)

第六條

保險給付金受領方ノ委任狀ニ貼付スヘキ收入印紙ハ受領方ヨリ他ノ者ニ委任シタル場合ニ於テ被保險者カ其ノ受タル健康保險ノ給付金ノ受領方ヲ他ノ者ニ委任シタル場合ニ於ケル委任狀ニハ法第六條ノ規定ノ適用ナルヲ以テ收入印紙ヲ貼付スルコトヲ要セ

サルモノトス(昭和二年五月四日附收保第一、一七八號ヲ以テ保險部長ヨリ廣島健康保險署長宛回答)

保險給付ノ現金受領ヲ他ノ者ニ委任シタル場合ニ於ケル委任狀ニ貼付スヘキ收入印紙

政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者カ保險給付ノ現金ヲ歳出金支拂通知書ニ依リテ受ケル場合ニ於テ之カ領收ヲ他ノ者ニ委任シタル場合ニ於テハ歳出金支拂通知書裏面ノ委任狀ニ貼付スヘキ收入印紙ハ法第六條ノ規定ニ依リ貼付ヲ要セサルモノトス(昭和二年五月五日附保第八三三號ヲ以テ保險部長ヨリ札幌健康保險署長宛回答)

組合會ノ會議表決委任狀ニ貼付スル收入印紙

組合會ノ會議表決委任狀ハ法第六條ノ健康保險ニ關スル書類ニ該當スルヲ以テ收入印紙ノ貼付ヲ要セサルモノトス(昭和二年十二月七日附保第三、九五六號ヲ以テ保險部長ヨリ三好健康保險組合宛回答)

第七條

健康保險法 第六條、第七條



戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ノ範圍 (戸籍法六七條)

法第七條ニ依リ戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ハ戸籍法第六十七條第

二項ノ規定ニ依ル事項ニシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ事項ノミニ限ラス

是等ノ者ト同一戸籍内ニ在ル他ノ者ノ事項ヲ含ムモノトス (大正十五年九月十三日附民

事第七、一一四號ヲ以テ司法次官ヨリ社會局長宛宛回答)

戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項

法第七條ノ規定ニ依リ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ハ戸籍法第六十七條第二項

ノ規定ニ依ル事項ニ限ルモノナルヲ以テ無償ニテ戸籍ノ抄本又ハ謄本ノ請求ハ之

ヲ爲シ得サルモノトス (昭和二年三月十一日附保理第一、〇七三號ヲ以テ保險部長ヨリ宮崎健康保

險署長宛宛回答)

戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ト出生及死産ニ關スル事項

法第七條ニ依リ戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ハ戸籍法第六十七條第

二項ノ規定ニ依ル事項 (被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ事項ノミニ限ラス是等ノ者ト同一ノ戸籍内ニ在ル他ノ者ノ事項ヲ含ム) ニ限ルモノナリ故ニ出生届其ノ他出生ニ關シ市區町村長ニ於テ受理シタル書類ニ記載シアル事項ニ付テハ證明ヲ求ムルコトヲ得ヘキモ死産ニ關スル事項ニ付テハ證明ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス (昭和三年七月二十五日附保理第一、八九九號ヲ以テ保險部長ヨリ東京市長宛宛回答)

埋火葬認許證寫ノ下付ト法第七條ニ依ル證明

埋火葬認許證寫ノ下付ハ法第七條ニ依ル戸籍ニ關スル證明ニ該當セサルモノトス

(昭和三年七月二十五日附保理第一、八九九號ヲ以テ保險部長ヨリ東京市長宛宛回答)

### 第八條

事業主ノ範圍 (法一四條、一九條、二七條等)

健康保險ニ於テ謂フ事業主ニハ鑛山ノ斤先人ヲ含マサルモノトス (大正十五年八月二

十三日附收保第一六號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡鑛山監督局長宛宛回答)

健康保險法 第七條、第八條



第十一條ノ二

滞納處分ト假差押、假處分トノ關係

假差押又ハ假處分ニ係ル物件ヲ滞納處分ニ依リ公賣ニ附シタル場合ニ於テハ其ノ賣却代金ノ殘金ハ之ヲ滞納者ニ交付スヘキモノニシテ假差押又ハ假處分債權者ニ交付スヘキモノニ在ラス

滞納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲シタル後ニ於ケル差押ノ解除

滞納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲シタル後ニ於テ必要アル場合ニハ滞納處分ノ執行ニ支障無キ限リ其ノ一部ニ付キ差押ノ解除ヲ爲スコトヲ得

滞納ニ係ル保險料ノ強制徴收ト民事訴訟

滞納ニ係ル保險料ノ強制徴收ハ民事訴訟法ニ依ルコトヲ得タルモノトス(昭和二年十一月三十日附保連第三、五六六號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜健康保險局長宛回答)

市町村ニ於テ爲スル保險料ノ滞納處分方法

保險料ノ請求ニ基キ保險料ノ滞納ヲ市町村ニ於テ處分スル場合ニ於テハ市町村ハ市町村種ノ例ニ依リ處分スヘキモノナラバ以テ之カ方法ハ各市町村ノ定ムル所ニ依リ(昭和二年六月二十日附保連第二、六二四號ヲ以テ保險部長ヨリ福島健康保險局長宛回答)

法第十一條第一項(改正法第十一條ノ二)ノ市町村交付金ノ基礎

法第十一條第一項(改正法第十一條ノ二)ノ規定ニ依リ市町村ニ交付スヘキ金額ハ處分請求金額ノ百分ノ四ニ非スシテ實際徴收セラレタル金額ノ百分ノ四トス(昭和三年四月十日附保連第八三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及健康保險組合宛通牒)

保險料後ニ滞納處分請求ノ場合ニ於テ市町村長ノ督促等後ニ納付シタル市町村長ノ指定スル所ト異リタル所ニ納付シタル場合ト市町村交付金ノ額ハ前記ノ額ニ非ス



合ニ於テ市町村長カ督促狀ヲ發シタル後ニ納人カ市町村長ノ指定スル所ニ納付ス  
 安スヘキヲ誤リテ歳入徵收官タル健康保險署長ノ義ニ發シタル納入告知書ニ指定スル  
 日本銀行、其ノ支店若ハ代理店ニ納付シ又ハ健康保險組合ノ義ニ發シタル納入書  
 知書ニ指定スル所ニ納付スルコトアルモ之ハ市町村ニ於テ徵收シタルモノト看做  
 スヘキモノナルヲ以テ該納付額ノ百分ノ四ハ市町村ニ交付スヘキモノトス（昭和三  
 年四月十日附發第八三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒）  
 法第十一條第一項（第五款第十一項）ノ市町村ニ交付スヘキ金額ハ

保險料滯納處分ノ請求ヲ受ケタル市町村長カ該處分ヲ滯納者ノ財産ノ所在スル市  
 町村ニ囑託シ以テ保險料ヲ徵收セシ場合ト雖交付金ハ滯納處分ノ請求ヲ受ケタル  
 市町村ニ交付スヘキモノトス而シテ該交付金ヲ右兩方ノ市町村ニ分配スルコトハ  
 市町村長ノ任意トス（昭和四年三月十三日附保理第六五四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署

長宛回答）

（市）町村ニ準スヘキモノノ範圍

法第十一條第二項及第三項（改正法第十一條ノ二第三項）ニ所謂（市）町村ニ準スヘ  
 キモノトハ左ノ範圍ノモノヲ謂フ義トス  
 北海道一級町村制ニ依ル町村  
 北海道二級町村制ニ依ル町村  
 島嶼町村制ニ依ル町村  
 （市制及）町村制並前記ノ諸制ヲ施行セサル地ニ在リテハ是等ノ法令ノ規定ニ依  
 ル（市又ハ）町村ニ類スルモノ  
 （昭和三年一月二十日附發保第四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒）  
 法第十一條ノ三

保險料ノ滯納處分ノ場合ニ於ケル先取特權ノ順位（國稅徵收法第四條ノ二）



保險料其ノ他健康保險法ノ規定ニ依ル徵收金ノ滯納處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ該徵收金ノ先取特權ハ水利組合、農會、耕地整理組合等ノ徵收金ニ先ツモノトス  
(昭和三年一月二十日附發保第四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

徵收金及其ノ督促手数料、延滞金、滯納處分費ト第三者ノ擔保物權間ノ先取特權ノ順位  
(國稅徵收法第三條。四條ノ二)

應府縣ニ於テ滯納處分ヲ執行シタルニ納付義務者ノ財産上ニ質權、抵當權ヲ有スル者其ノ質權又ハ抵當權ノ設定カ健康保險法ニ依ル徵收金ノ納期限ヨリ一箇年前ニ在ルコトヲ公正證書ヲ以テ證明シタルトキニハ先取權ノ順位ハ左ノ通トス

- 一 督促手数料、延滞金及滯納處分費
- 二 納期限一年前設定ノ質權、抵當權アル債權(但シ該物件ノ價額ヲ限トス)
- 三 健康保險法ニ依ル徵收金

徵收金及其ノ督促手数料、延滞金、滯納處分費ト國稅、第三者ノ擔保物權間ノ先取特權ノ順位

(國稅徵收法三條。四條ノ二)

應府縣ニ於テ滯納處分ヲ執行シタルニ國稅(府縣、市町村又ハ町村ニ準スヘキモノノ徵收金)ニ付交付ノ要求アリ又納期限ヨリ一箇年前ニ質權又ハ抵當權ノ設定アルコトヲ公正證書ヲ以テ證明セル債權アリタル場合ニ於テハ先取特權ノ順位ハ左ノ通トス

- 一 健康保險法ニ依ル徵收金ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費
- 二 國稅(府縣、市町村又ハ町村ニ準スヘキモノノ徵收金)ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費
- 三 國稅(府縣、市町村又ハ町村ニ準スヘキモノノ徵收金)ノ納期限一年前設定ノ質權又ハ抵當權アル債權(但シ該物件ノ價額ヲ限トス)
- 四 國稅(府縣、市町村又ハ町村ニ準スヘキモノノ徵收金)
- 五 健康保險法ニ依ル徵收金



徴収金ノ督促手数料、延滞金及滞納處分費ノ先取特權ノ順位(國稅徵收法第四條ノ二)

應府縣ニ於テ健康保險法ニ依ル徴収金ニ付キ滞納處分ヲ執行シタル場合ニ於テハ右徴収金ノ督促手数料、延滞金及滞納處分費、國稅其ノ他凡テノ公課及債權ニ先チテ之ヲ徴収ス

第十條 第三條

續業法ノ適用事業場ニ於ケル被保險者ノ範圍ト工場法適用工場ニ於ケル被保險者ノ範圍トノ異同

被保險者ノ範圍ハ續業法ノ適用ヲ受クル事業場ニ於ケルモノモ工場法ノ適用ヲ受ケル工場ニ於ケルモノモ同一ナルモノトス(昭和二年六月二十四日附保連第二六四六號ヲ以テ保險部長ヨリ沖ノ山健康保險組合宛)

被保險者資格取得ノ動機不純ノ場合ト資格取得ノ效力

健康保險ノ被保險者ト爲ラハ豫テ罹レル疾病ニ付無料ニテ入院治療ヲ受クベシ

アリト聞キ工場法適用工場ニ使用セラレ被保險者ノ資格ヲ取得シタリト雖其ノ資格取得カ真ニ使用關係人成立ニ基キタルモノナリトモハ保險者ニ於テ此ノ資格取得ヲ取消スコトヲ得サルモノトス(昭和三年十月三十日附保連第二七十七號ヲ以テ保險部長ヨリ茨城健康保險署長宛同答) 官合ニ合置又兼夫、神品強賣、賣子及事務員、用樂、暗入

被保險者ノ資格得喪ト規約ノ規定

被保險者タル資格ノ得喪ハ一ニ健康保險法ノ規定ニ依リ定マルモノニシテ此ノ點ニ關シ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得サルモノトス(大正十五年九月十四日附保連第六八號ヲ以テ保險部長ヨリ栃木縣下都賀郡小山町山十製練株式會社小山製練所小澤昭壽宛同答)

強制被保險者ヲサクルモノ

法第十三條ニ於テ工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ヲ適用ヲ受クル工場又ハ續業法ニ適用ヲ受クル事業場又ハ工場ニ使用セラレル者トハ斯ノ如キ工場又ハ事業場ノ本來ノ業務ニ使用セラルル者ノ義ニシテ社會通念上工場又ハ事業場ノ本來ノ業務



本利個々を以て認むラレル業務ニノミ使用セラルル者ハ之ニ該法ニ於テ之ヲ適用スルニ非ズ  
 從テ左ニ掲クル如キ者ハ一方ニ於テ工場又ハ事業場本來ニ業務ニ使用セラルル  
 場合ノ外ハ法第十三條ノ規定ニ依ル被保險者タラサルモ之ヲ適用スルニ非ズ  
 既述ノ工場又ハ事業場ノ内ニ工場事務所ノ外ニ本部事務所アル場合ニ於テ此ノ本部ノ事務  
 ノミニ従事スル者 (昭和三年十月二日附保發第六五四號ヲ以テ保發部長ヨリ各健康保險署  
 長及各健康保險組合宛通牒)

二、工場ノ構内ニ在ル販賣所ニシテ工場ト別個ノ存立ヲ爲セル場合ニ於ケル該  
 販賣所ニ勤務スル者 (大正十五年十一月四日附發外ヲ以テ保發部長ヨリ福岡縣内兩河縣工  
 業聯合會長宛回答)

三、保母、看護婦、寄宿舎ノ舎監及雑夫、物品販賣所ノ賣子及事務員、俱樂部ノ  
 雑夫 (昭和二年一月三十一日附保理第五三三號ヲ以テ保發部長ヨリ岐阜縣養田茂三郎宛回答)  
 四、製糖工場ニ於ケル原料運搬用ノ軌道修繕ニ使用セラルル工夫 (昭和二年三月十  
 九日附發第二五五號ヲ以テ保發部長大阪出張所ヨリ神戶電機保發部長宛回答)

五、工場ト同一場所ニ在ル本店ニ屬スル職員、給仕、小使 (昭和二年二月十九日附  
 保第一九〇號ヲ以テ保發部長ヨリ大同電氣製作所宛回答)

六、工場又ハ鑛山ノ附屬事業タル學校ノ職員 (大正十五年八月二十三日附收保第一六號  
 ヲ以テ保發部長ヨリ福岡縣山監督局長宛回答)

七、工場又ハ鑛山ノ附屬事業タル醫局ニ使用セラルル者 (大正十五年八月二十三日附  
 收保第一六號ヲ以テ保發部長ヨリ福岡縣山監督局長宛回答)

八、工場專屬病室ノ看護婦、雑役夫 (昭和二年一月二十五日附保理第二四五號ヲ以テ保發  
 部長ヨリ明治紡織株式會社宛回答)

九、専ラ寄宿舎ノミニ勤務スル炊事婦、電話交換手、門衛、夜警係、布團調製  
 婦、掃除夫 (昭和四年三月十四日附保理第六二四號ヲ以テ保發部長ヨリ藤井健康保險會宛  
 回答)

十、専ラ工場ニ於ケル製品ヲ得意先ニ運搬スル業務ニ従事スル自動車運轉手  
 (昭和二年二月五日附保理第七一三號ヲ以テ保發部長ヨリ江東工業會宛回答)

十一、電燈會社ノ電工ニシテ専ラ外部ニ在リテ電柱及電線ノ架設ニ従事スル者  
 健康保險法 第十三條



十一、昭和二年三月十九日附設第二五五號ヲ以テ保險部大臣出張所長ヨリ沖繩健康保險局長宛回答)

十二、製糖工場ノ附屬ノ蔗園ニ使用セララルル技手又ハ人夫 (同上)

十三、製糖工場ニ於ケル原料買収係トシテ常ニ圃場又ハ農家ニ於テ原料ノ買収

ニ従事スル者 (同上)

十四、工場業務ニ使用セララルルモ常ニ自宅ニ在リテ其ノ業務ニ従事スル者 (續

物工場ニ於ケル下拵タル職部中ノ差入ト稱スルモノノ如シ) (昭和二年三月二十日

附保連第一、四九八號ヲ以テ保險部長ヨリ福井健康保險局長宛回答)

八、工場專風除室ノ香煙機ノ掃除夫 (昭和二年一月二十五日附設第二四九號ヲ以テ

**製品及材料品ヲ各分工場ノ間ニ運搬スル船頭及船夫ト被保險者 (法一五條)**

製品及材料品ヲ各工場ノ間ニ運搬スル船ノ船頭及船夫ハ被保險者タルモノトス

(昭和二年二月五日附保連第七一三號ヲ以テ保險部長ヨリ東京市本所區横綱町一丁目二十番地江東工業會

宛回答)

工場又ハ船山ノ側ニ事業場ハ有ル船員 (大正十五年八月二十三日附設第一二五號

**工場ノ作業時間外ニ工場ノ構内ヲ巡視スル者ト被保險者**

工場ノ作業時間外ニ工場ノ構内ヲ巡視スル者ハ強制被保險者タルモノトス (昭和

二年一月二十六日附保連第二三九號ヲ以テ保險部長ヨリ新潟縣新潟市入船町四丁目株式会社新潟鐵工所新潟

工場長鈴木春雄宛回答)

**製品及材料品ヲ各分工場ノ間ニ運搬スル自動車運轉手ト被保險者 (法一五條)**

製品及材料品ヲ各分工場ノ間ニ運搬スル自動車運轉手ハ被保險者タルモノトス

(昭和二年二月五日附保連第七一三號ヲ以テ保險部長ヨリ東京府東京市本所區横綱町一丁目二十番地江東工

業會宛回答) (昭和二年二月二十八日

**組合ノ事務員ト被保險者 (法一五條)**

組合ノ事務員ハ被保險者タラサルモノトス但シ組合ノ事務員タルト共ニ一方組合

ノ設立アル事業ノ工場又ハ事業場ニ使用セララルル者ハ被保險者タルモノトス

(昭和二年一月二十五日附保連第二四五號ヲ以テ保險部長ヨリ栃木縣足利郡御厨町福居明治紡織株式會社宛

回答) (昭和二年一月二十八日



外國人勞働者ト被保險者 (法一五條)

地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ工場又ハ事業場ニ使用セラルル外國人ハ健康保險ノ被保險者タラサルモノトス (大正十五年十一月二十五日附保發第三六號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險局長宛回答)

工場管理人ト被保險者 (法一五條)

工場管理人ハ工場ニ使用セラルル者ノ中ニ包含セラルルヲ以テ工場管理人中一年ノ報酬千二百圓ヲ超エサル者ハ當然被保險者タルモノトス (昭和元年十二月二十八日附保發第七五三號ヲ以テ保險部長ヨリ長野健康保險局長宛回答)

合資會社ノ社員ニシテ該會社經營工場ノ書記タル者ト被保險者 (法一五條)

合資會社ノ社員ニシテ且其ノ會社ノ經營スル工場ニ於テ書記トシテ工場ノ作業ニ直接關係アリト認めラルル業務ニ従事スル者ハ健康保險ノ被保險者トス (昭和二年十一月二十日附保發第四〇六六號ヲ以テ保險部長ヨリ福井健康保險局長宛回答)

被保險者ノ資格 (法一五條)

職工其ノ妻又ハ子女ヲ常時工場ニ伴ヒ自己ノ手傳トシテ業務ニ従事セラルル上ニ其ノ妻又ハ子女ハ工場ニ使用セラルル者ト謂フヘク隨テ被保險者タルノ資格ヲ有スルモノトス (大正十五年十一月十九日附保發第二二二號ヲ以テ保險部長ヨリ千葉健康保險局長宛回答)

第十三條ノ臨時被使用者ノ範圍 (法一五條)

第十三條但書ノ臨時ニ使用セラルル者ノ中ニハ經常ノ事業ニ臨時使用セラルル者ノミニ限ラス臨時ノ事業ニ使用セラルル者ヲモ含ムモノトス

勞務供給請負人カ其ノ供給セラルル者ノ從事スル作業ニ自ラ從事スル場合ト保險料ノ負擔義務 (法七二條。令九條)

勞務供給請負人カ其ノ供給セラルル者ノ從事スル作業ニ自ラ從事スル場合ニ於テ一面被保險者タルモノナルカ故ニ被保險者トシテ保險料ヲ負擔スヘキ義務アル



外國モノトス（昭和二年八月十三日附保理第一二八六〇號ヲ以テ保衛部長ヨリ東京朝鮮健康保險組合宛回答）

（本件ハ勞務供給請負人カ三十日ヲ超エテ引續キ從事スル場合トシテノ回答ナリ）

負債額（法二條ノ令一）

職員ノ兼業及範圍（法一五條）

法第十三條但書ノ「職員」トアルハ主トシテ精神勞働ヲ以テ事業ノ管理事務ニ從事スル者ヲ指シテモノトス然レトモ實際問題トシテハ職員ト然ラサル者トノ範圍ヲ適確ニ定ムルコト甚困難ナルモノアリ故ニ個々ノ場合ニ於テ各種ノ資料ト四圍ノ事情トヲ參照シテ決定スルノ外ナキモノトス（昭和二年一月二十九日附收保第五六〇號ヲ以テ

内務省土木局長宛回答）

職員ノ兼業ハ法一五條ノ規定ハ工業ノ出稼トシテハ可クモ農業ノ兼業ハ可クモ法第十三條日給係員ト雖主トシテ精神的勞働ヲ以テ事業ノ管理事務ニ從事スル者ハ法第十三條

所屬健康保險會ニ所謂職員ニ該當スルモノトス（昭和三年四月三十日附保理第一一七二號ヲ以テ保衛

部長ヨリマツダ健康保險組合宛回答）

法第十三條但書ノ「報酬」トアルハ健康保險法施行令第一條第一號ノ賞與ヲ含マス且此ノ報酬ハ事業ニ使用セララル者カ勞務ノ對價トシテ事業主

ヨリ受タル賃金等ヲ謂フモノトス隨テ年金、恩給ノ如キハ此ノ報酬ニ包含セラレ

ズルモノトス（大正十五年十二月二十三日附保發第七一六號ヲ以テ保衛部長ヨリ千葉縣東葛飾郡

市川町新田四千五百三十四番地高田實宛回答）

法第十三條但書ノ「報酬」トアルハ健康保險法施行令第一條第一號ノ賞與ヲ含マス且此ノ報酬ハ事業ニ使用セララル者カ勞務ノ對價トシテ事業主

ヨリ受タル賃金等ヲ謂フモノトス隨テ年金、恩給ノ如キハ此ノ報酬ニ包含セラレ

ズルモノトス（大正十五年十二月二十三日附保發第七一六號ヲ以テ保衛部長ヨリ千葉縣東葛飾郡

市川町新田四千五百三十四番地高田實宛回答）

法第十三條但書ノ「報酬」トアルハ健康保險法施行令第一條第一號ノ賞與ヲ含マス且此ノ報酬ハ事業ニ使用セララル者カ勞務ノ對價トシテ事業主

ヨリ受タル賃金等ヲ謂フモノトス隨テ年金、恩給ノ如キハ此ノ報酬ニ包含セラレ

ズルモノトス（大正十五年十二月二十三日附保發第七一六號ヲ以テ保衛部長ヨリ千葉縣東葛飾郡

市川町新田四千五百三十四番地高田實宛回答）



入ヲ推入スモノニ非ス。 (大正十五年十一月十一日附録外ヲ以テ保險部管理課長ヨリ北海道室蘭會社  
 第九十三號山崎式宛回答) 半ノ報酬千二百圓ヲ超スルハ職員ニテハ、損保法第二條ノ規定ニ依リテ  
 法第十三條ノ規定ニ適用スル。 (法一三條、一五條、一七條)

**法第十三條但書ノ報酬千二百圓ヲユル 意義 (法一五條)**

法第十三條但書ノ「報酬千二百圓ヲ超ユル」トアルハ報酬千二百圓ヲ包含セザル義  
 トス。 (大正十五年十月十一日附録外ヲ以テ保險部管理課長ヨリ北海道室蘭市新町九十三號山崎式宛  
 答) 受入ノ賃金等ノ額ニテハ、八割ノ手金、恩給ノ賦課金等ノ額ニテハ、八割ノ額ニテハ、  
 額ノ算入マ合ハル。且、八割ノ額ノ事業ニ出資スル者ハ、各該事業ノ役員ニテハ、事業主  
 法第十三條但書ノ「四條」ハ「報酬」イテハ、八割ノ額ノ算入マ合ハル。 (法一三條、一五條)

**任意包括被保險者ヲ得ル者ノ範圍 (法一三條、一五條)**

法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者タルコトヲ得ル者ハ法第十四條各號ニ掲クル事  
 業ノ事業場又ハ工場ニ僱用セラルル労働者及一年ノ報酬千二百圓ヲ超エサル職員

ニシテ法第十三條ノ規定ニ依ル被保險者ノ範圍ト同シキモノトス

**法第十四條ノ附屬事業ノ意義**

法第十四條第一項ノ「附屬スル事業」トハ工業的企業タル附屬事業ヲ謂フモノトス

**機械ニ依リテ爲ス砂利採取事業ト法第十四條第一項第一號ノ事業**

機械ニ依リテ砂利ヲ採取スル事業ハ法第十四條第一項第一號ノ鑛物ノ採取ノ事業

ニ該當スルモノトス。 (昭和三年三月十九日附保第五一二號ヲ以テ保險部長ヨリ東京府北多摩郡  
 立川町堤外日立砂利合資會社宛回答)

**電氣ノ傳導事業ノ範圍**

法第十四條第一項第三號ノ電氣ノ傳導事業ニハ電線ノ架設工事ヲ含ムモノトス

**法第十四條第一項第三號ノ事業ト工場法施行令第三條第四十二號ノ工場トノ關係**

(工場法一條、工場法施行令三條) 工場法第一條ノ「工場」トハ、本法第三條第四十二號ノ工場ニテハ、



（工）法第十四條第一項第三號ノ事業ニハ工場法施行令第三條第四十二號ノ事業ヲ含マ  
去テモノトス而シテ工場法施行令第三條第四十二號ニ所謂電氣業トハ電氣事業法第

一條ニ揚クル電氣事業ト必スシモ一致スルモノニ非シテ一般ノ需要ニ應ジ電氣  
ヲ供給スルモノ及一般ノ運送ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ニ電氣ヲ供給スルモノノ  
外工場及其ノ附屬建築物ニ電氣ヲ供給スルモノ並特定ノ會社等ニ電氣ノ卸賣ヲ爲  
スモノヲモ包含スルモノトス但シ常時職工ヲ使用シ工場組織ヲ有スルモノニ限ル  
モノトス（昭和二年一月三十一日附保發第八三號ヲ以テ保險部長ヨリ宮城縣仙臺市長宛回答）

附則ニ對シテ其ノ第百六條ニ於テ第十四章第一節第一號ノ事業

法第十六條該當後其ノ工場ニ隨時使用セラルル者ト任意包括被保險者（法一四條。一五條）

法第十六條ノ規定ニ依リ法第十四條ノ認可アリタルモノト看做サレタル工場ニ隨  
時使用セラルル者ハ當然法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者トス（昭和二年七月七日附  
發第一五九七號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ福岡健康保險署長宛回答）

法第十六條該當工場ニ於テ被保險者ヲ一時全部解雇後更ニ使用シタル場合ト任意包括  
被保險者（法一四條。一五條）

法第十六條該當ノ工場ニシテ法第十九條第一項ノ認可ヲ受ケサル限りハ該工場ニ  
差遣使用セラルル被保險者全部ヲ一時解雇シ更ニ前被保險者其ノ他ノ者ヲ雇入ルルモ  
是等雇入レラレタル者ハ依然法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者タルモノトス（昭和  
二年十一月十七日附保理第三、七五八號ヲ以テ保險部長ヨリ愛媛健康保險署長宛回答）

法第十六條該當工場廢業後新規開業ノ場合ニ使用セラルル者ト任意包括被保險者（法  
一五條）

法第十六條該當ノ工場ニシテ一旦廢業シタル後新ニ開業シタル場合ニ於テハ該工  
場ニ使用セラルル者ハ法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ニ非サルモノトス（昭和二  
年十一月十七日附保理第三、七五八號ヲ以テ保險部長ヨリ愛媛健康保險署長宛回答）

法第十六條該當工場力休業シ被保險者ヲ使用セサルニ至リ其ノ後再ヒ事業ヲ開始シ工



工場法ノ適用ヲ受ケサル範圍ニ於テ職工ヲ使用シタル場合ト健康保険法ノ適用 (法一三條。一四條。一五條。一八條)

法第十六條ノ規定ニ依リ法第十四條ノ認可アリタリト看做サレタル工場カ休業ニ依リ事業ヲ閉鎖シ被保險者全部ヲ一時解雇シタル後數箇月ヲ經テ再ヒ事業ヲ開始シ工場法ノ適用ヲ受ケサル範圍ニ於テ職工ヲ雇入レタル場合ニ於テハ該工場ハ一且事業ヲ廢シ新ニ事業ヲ開始シタルモノト認メ健康保険法ヲ適用スヘカラサルモ (昭和二一年十月十三日附保理第三、五一九號ヲ以テ保理部長ヨリ愛知健康保險署長宛回答)

第十七條

法第十七條ノ「其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日」ノ意義

法第十七條ノ「其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日」トアルハ事業主ト被保險者トノ間ニ法律上又ハ事實上ノ使用關係ノ發生シタル日ヲ謂フ義ト解スヘキモノトス (昭和三一年七月三日附保理第四八〇號ヲ以テ保理部長ヨリ各健康保險署長各健康保險組合宛通牒)

製絲工場等ニ使用セラルル者ノ被保險者資格取得ノ日

製絲業ノ如ク職工募集員カ各地ニ出張シ出張先ニ於テ職工ノ募集ニ應ジタル者ト雇傭契約ノ交渉ヲ纏ムルカ如キ事情ノ事業ニ在リテハ應募ニ依リ雇傭契約ハ成立スト雖所謂入場ノ日迄ハ職工及事業主ノ双方ニ於テ該契約ニ依リ勞務ノ提供或ハ報酬支拂ノ要ナク即チ双方共債務履行ノ要ナキヲ以テ事實上ハ勿論法律上モ未タ該使用關係發生セザルモノト認メラルモノトス故ニ右ノ如キ事情ノ下ニ雇傭セラルル者ハ所謂入場ノ日ヨリ被保險者ノ資格ヲ取得スルモノトス (昭和三一年十一月十七日附保理第七五一號ヲ以テ保理部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

被保險者資格取得ノ初日ト民法ノ期間ニ關スル規定

被保險者資格取得ニ付テハ法第十七條ノ規定ニ依リ初日ヲモ算入スヘキモノニシテ民法ノ期間ニ關スル規定ハ此ノ場合ニ適用ナキモノトス (昭和三一年八月三十日附保理第七三九號ヲ以テ保理部長大阪出張所長ヨリ岸和田紡績健康保險組合宛回答)



工場又ハ事業場ニ轉勤ノ場合ト被保險者ノ資格 (法一八條)

一 事業主ノ工場又ハ事業場カ各地ニ在ル場合ニ於テ甲ノ工場又ハ事業場ニ使用セ

ラルル被保險者カ乙ノ工場又ハ事業場ニ轉勤シタルトキハ甲ノ工場又ハ事業場ニ

於テ一旦被保險者ノ資格ハ喪失シ乙ノ工場又ハ事業場ニ於テ更ニ被保險者ノ資格

ヲ取得スルモノトス (大正十五年十二月一日附保發第三〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署

長宛回答)

法第十五條第二項ニ該當セサルニ至リタルカ爲ニ被保險者ノ資格ヲ取得スル場合ニ於

ケル取得ノ日 (法一五條。令九條) 其資格取得ノ要キチマ以テ事實上ハハ該當者トシテ未

一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員カ千二百圓ヲ超エサルコトト爲リタル場合及施

行令第九條第一號ニ該當スル者カ所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リ

タル場合ニ在リテハ千二百圓ヲ超エサルニ至リタル日又ハ所定ノ期間ヲ超エタル

日ニ必スシモ作業ニ從事スルコトヲ必要條件トセス現ニ業務ニ引續キ使用セラル

被保險者ノ資格ヲ取得スルモノトス (昭和二年六月十八日附保理第

二、五二二號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣遠賀郡香月村岩崎鐵業所宛回答)

被保險者ノ資格ノ存在ト保險給付トノ關係 (法一條、一八條)

被保險者ノ資格ハ保險給付ヲ受クルト否トニ拘ラス業務ニ使用セラルルモノトセ

工場ハ依然トシテ存在スルモノトス (昭和三年五月一日附保理第一、一四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ森

水製菓口工場健康保險組合宛回答) 同一年七月七日附保理第三〇二二號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長ヨリ東京健康保險組合宛回答)

法第十八條ノ「其ノ業務ニ使用セラレサルニ至リタル日」ノ意義

法第十八條ノ「其ノ業務ニ使用セラレサルニ至リタル日」トアルハ事業主ト被保

險者トノ間ニ法律上モ事實上モ使用關係ノ存在セサルニ至リタル日ヲ謂フ義ト解

スヘキモノトス (昭和三年七月三日附保發第四八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康

保險組合宛通牒) 健康保險法 第十七條。第十八條



製絲工場等ニ使用セラルル者ノ被保險者資格喪失ノ日

製絲業等ニ於テハ冬季相當長期間作業ヲ休止スルモ翌年ニ於ケル職工募集ノ便宜  
上履備契約ヲ相當期間繼續スル向アリ斯クノ如キ場合ニ於テハ法律上モ事實上モ  
使用關係ヲキモノトシテ退場ノ日ノ翌日ヨリ被保險者ノ資格ヲ喪失スルモノトス  
（昭和三年十一月十七日附保發第七五一號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及各健康保險組合宛通牒）

同一ノ被保險者カ甲工場ニ使用セラレサルニ至リタル日ニ乙工場ニ使用セラルルニ至  
リタル場合ニ於ケル被保險者ノ資格

同一ノ被保險者カ甲工場ニ使用セラレサルニ至リタル日ニ乙工場ニ使用セラルル  
ニ至リタル場合ニ於テハ甲工場ニ於ケル被保險者ノ資格ハ其ノ工場ニ使用セラレ  
タル日ヲ以テ喪失スヘキモノトス（昭和二年一月二十二日附保發第三〇八號ヲ以  
テ保險部長ヨリ旭川健康保險局長宛回答）

被保險者月収百圓ヲ超ユルニ至リタル場合ニ於ケル被保險者資格喪失時期（法一三條）

被保險者カ昇給ノ結果一箇月百圓ヲ超ユル俸給ノ支給ヲ受タルニ至リタルカ如キ  
場合ニ於テハ其ノ昇給ノ日ノ翌日ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失スルモノトス（昭  
和二年十月五日附保發第三、五〇六號ヲ以テ保險部長ヨリ内外紡績健康保險組合宛回答）（法第十八條但書  
ノ場合ハ當日ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失スルコト勿論ナリ）

工場ノ業務ニ從事スル日數少キニ至リタル者ノ被保險者ノ資格

被保險者カ工場ノ業務ニ從事スル日數少キニ至リタル場合ト雖依然トシテ工場ニ  
使用セラルル者ナルトキハ其ノ者ノ被保險者ノ資格ハ存続スルモノトス（昭和三  
年十二月七日附保發第三、〇二七號ヲ以テ保險部長ヨリ東京府葛飾郡大島町七丁目九百十五番地ラサ島機織  
株式會社東京工場長山崎隆一宛回答）

休職ト被保險者資格（法一三條、一五條）

休職ハ使用關係ヲ消滅セシムルモノニ非スシテ單ニ實務ニ服セシメサルニ過キス  
即チ事業主ニ仍雇備セラルルモノナルヲ以テ依然トシテ被保險者タルモノトス



（昭和四年五月四日附保理第一、五四三號ヲ以テ保險部ヨリ兵庫縣神戸市中村町十五番屋敷野平次宛同  
答）

勞務供給契約ニ基キテ被保險者ト爲リタル者カ短期間供給セラレサルコトト爲リタル  
場合ト被保險者ノ資格（令九條）

勞務供給契約ニ基キ使用セラルル者カ施行令第九條但書ニ依リ被保險者ト爲リタ  
ル後該契約ノ請負人ニ於テ其ノ者ヲ供給セサルコトト爲リタル場合ハ其ノ供給セ  
サル期間短キモノト雖右ノ供給セラレサルコトト爲リタル者ハ被保險者ノ資格ヲ  
喪失スルモノトス（昭和二年八月十三日附保理第二、八六〇號ヲ以テ保險部長ヨリ東京鋼材健康保  
險組合宛回答）

第二十条

任意繼續被保險者タルコトノ申請ノ效果ハ附保答ハ資格ヲ喪失スルモノトス  
法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タルコトノ申請ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ資

格ハ中斷セサルモノトスニシテハ附保答ハ資格ヲ喪失スルモノトス

任意繼續被保險者タラムトスルコトヲ法定期間内ニ申請シタル者ニ對スル資格ノ決定  
（令第一〇條）

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者カ法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラムトスル  
申請ヲ法定期間内ニ爲シタルトキハ其ノ者ハ即チ被保險者ノ資格ヲ繼續スルモノ  
ニシテ被保險者ニ於テ其ノ者ヲ被保險者ノ資格ナキモノトシテ取扱フコトヲ得サル  
モノトス（昭和三年七月十九日附保理第一、三五三號ヲ以テ保險部長ヨリ淺野造船所健康保險組合宛  
回答）

被保險者カ事業主ト爲リ又ハ一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユルニ至リタル場合ト任意繼續  
被保險者タリ得ル資格（法一三條。一五條）

被保險者カ事業主ト爲リ又ハ一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユルニ至リタル場合ト雖法  
第二十條ノ規定ニ依リ被保險者タリ得ルモノトス（昭和二年五月五日附發第九八一號ヲ以



ヲ保險部大阪出張所長ヨリ山口健康保險署長宛回答)

法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續給付ヲ受クル者ト任意繼續被保險者タラムトスル申請

(法五五條。令一〇條)

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日ニ法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ給付ヲ受ク  
ル者ト雖法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラムトスル申請ヲ爲スコトヲ得ルモ  
ノトス (昭和三年三月十六日附保第五一九號ヲ以テ保險部ヨリ福岡縣小倉市砂津東京製綱株式會社小  
倉工場宛回答)

任意繼續被保險者ト爲ルモ實益ナキ者カ任意繼續被保險者タラムトスル申請ヲ爲シタ  
ル場合ト之カ資格ノ決定 (法二一條。四七條。七四條)

任意繼續被保險者ト爲ルモ實益ナキ場合ト雖本人カ法第二十條ノ規定ニ依ル被保  
險者タラムトスル申請ヲ適法ノ手續ヲ以テ爲シタル場合ニ於テハ保險者ハ此ノ者  
ヲ當然法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲スヘキモノトス (昭和三年八月十七日附

保理第二〇五九號ヲ以テ保險部長ヨリ古河好問炭礦健康保險組合宛回答)

被保險者資格喪失日ノ豫期セラルル場合ト任意繼續被保險者タラムトスル申請 (令一〇  
條)

被保險者ノ資格喪失ノ日カ豫期セラルル場合ト雖法第二十條ノ規定ニ依ル被保險  
者タラムトスル申請ハ現ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ非サレハ之ヲ爲スコ  
トヲ得サルモノトス (昭和三年三月十六日附保第五一九號ヲ以テ保險部ヨリ福岡縣小倉市砂津東  
京製綱株式會社小倉工場宛回答)

任意繼續被保險者タル期間ノ起算日 (法一八條)

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者トシテ繼續シテ被保險者タル期間ハ法第十三條  
又ハ第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格喪失ノ當日ヨリ起算スヘキモノトス  
(昭和二年二月一日附保理第三三〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜健康保險署長宛回答)

任意繼續被保險者タル迄ノ間ニ於テ罹リタル疾病又ハ負傷ト保險給付 (法一條)



法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ハ法第十三條ノ規定ニ依ル被保險者又ハ法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日ニ遡及スルヲ以テ法第二十條ノ規定ニ依リ被保險者タルコトノ申請ヲ爲ス迄ノ間ニ於テ罹リタル疾病又ハ負傷ニ付テモ給付ヲ爲スヘキモノトス (昭和二年五月二十八日附保理第二、三、三三號ヲ以テ保險部長ヨリ神戸製鋼所健康保險組合宛回答)

**任意繼續被保險者ノ資格更新 (法二一條)**

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ被保險者ト爲リタル日ヨリ百八十日經過後ハ更ニ繼續シテ法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タルコトヲ得サルモノトス (昭和三年八月十七日附保理第二、〇五九號ヲ以テ保險部長ヨリ古河好間炭礦健康保險組合宛回答)

**第二十一條**

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ保險料ノ納付期限ヲ特ニ指定セル場合ニ於ケル資格喪失ノ原因タル保險料滞納 (法二〇條。令一〇〇條。則一六條)

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ保險料ニシテ徵收手續遅延等ノ爲施行令第四百條第一項ノ納付期限以後ノ納付期限ヲ指定シタル場合ニ於テハ右指定ノ納期限後十日ヲ經過シタル場合ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失スヘキモノトス (昭和二年四月二十七日附保理第一、八四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岩手健康保險局長宛回答)

**任意繼續被保險者カ保險料ノ滞納ニ因リテ被保險者ノ資格ヲ喪失スヘキ日 (則一六條)**

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者カ保險料ノ滞納ニ因リテ被保險者ノ資格ヲ喪失スヘキ日ハ健康保險法施行規則第十六條ノ期間最終日ノ翌日トス (昭和三年三月二十六日附事發第八九〇號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ吉見紡織健康保險組合榊井支部宛回答)

**第二十六條**

健康保險組合ノ法人ノ性質ナハテ公器ニ非ス公器トシテ自當テ組織ノ事務ヲ司ルニ當リ健康保險組合ハ公法人トス



健康保險組合の公署

健康保險組合の公署は、公署人たる公署長を以て、自治行政廳ノ事務所ヲ謂フ義ト

認ム即チ市役所、町村役場等ノ如シ (昭和三年七月四日附收保第六二五號ヲ以テ保險部長ヨ

リ小津武林健康保險組合宛回答)

十六日附收保第八〇〇號ヲ以テ附收保第六二五號ニ對シテ保險部長ヨリ

健康保險組合ト所得稅トノ關係 (所得稅法一七條、所得稅法施行規則一二條)

健康保險組合ニ對シテハ、所得稅法第十七條及所得稅法施行規則第十二條ノ規定ニ

依リ所得稅ヲ課セサルモノトス (大正十四年十二月二十三日附收保第二、八三二號ヲ以テ大藏次

官書ヨリ社會局長官宛回答)

組合力支拂ヲ受クル利子ニ對スル資本利子稅 (資本利子稅法二條等)

組合ニ對シテハ、所得稅法第十七條及所得稅法施行規則第十二條ノ規定ニ依リ所得

稅ヲ課セサルモノナルヲ以テ組合力支拂ヲ受クル利子ニ對シテハ、資本利子稅ヲ課

セラレサルモノトス (昭和二年三月十日附收保第二四一號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通

組合設立ノ認可申請書ノ各款 (第三二條)

組合ノ經費ノ募集生員費支出

組合ノ經費ヲ募集スル事及生員費ノ支出ハ、本法第三二條ノ規定ニ依リテ

爲スルモノトス (昭和二年一月八日附收保第七〇六號ヲ以テ保險部長ヨリ東京市西區西區町日本興業株式會社宛

組合認可申請書ニ對シテハ、費用ノ負擔者 (第三二條、三二條、三三條)

第二十八條

法第二十八條ノ一事業ノ應立ル認可申請書ニ對シテハ、事實ニ於テハ、其ノ事業ノ

事業主甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥、

事業主甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥、

ニ印刷業ヲ爲ス場合ニ於テハ、此ノ製菓業ト印刷業トヲ合シテ一事業ト謂フコトヲ

得サルモノトス (大正十五年十月五日附收保第三九號ヲ以テ保險部長ヨリ某工場宛回答)

工場ノ所在地が府縣市町村ヲ異ニスル場合ト組合ヲ設立スル場合トハ、同一組合ヲ設立スル



工場ノ所在地カ府縣郡市町村ヲ異ニスルモ是等各工場ヲ通シテ一組合ヲ設立スル

ハ法律上妨ケナキモノトス但シ設立ノ認可アルヤ否ヤハ事實ニ依リテ決セラルヘ

キコト勿論タリ (大正十五年八月十六日附號外ヲ以テ保險部監理課ヨリ某會社宛回答)

キコト勿論タリ (大正十五年八月十六日附號外ヲ以テ保險部監理課ヨリ某會社宛回答)

事業主ヲ異ニスル異種ノ事業ト組合ノ設立

事業主ヲ異ニスル絹織物業ト製絲業トニ事業ヲ以テテ組合ヲ設立スルハ法律上

志業妨ケナキモノトス但シ設立ノ認可アルヤ否ヤハ事實ニ依リテ決セラルヘキコト勿

論タリ (大正十五年十月一日附號外ヲ以テ保險部ヨリ某同業組合長宛回答)

組合ノ設立準備ニ要シタル費用ノ負擔者 (法二九條、三一條、三二條)

組合ノ設立ハ事業主ノ爲スヘキ職務ナルヲ以テ設立前ニ其ノ準備ノ爲ニ要シタル

費用ハ事業主ノ負擔ニ屬スルモノトス (大正十五年十月二十七日附保理第四六號ヲ以テ保險

部ヨリ宮城縣名取郡長町旭紡織株式會社仙臺工場宛回答)

組合設立ノ認可申請者ノ名義 (法三二條)

組合設立ノ認可申請者ハ工場管理人等ノ名義ヲ以テ爲スハ不可然儀ニシテ事業主

カ會社ナル場合ニ於テハ其ノ會社ノ代表者ノ名義ヲ以テ爲スモノトス (大正十五

年十月七日附理第七二號ヲ以テ保險部長ヨリ某工場宛回答)

第三十一條

組合ノ強制設立ノ意義 (法三二條)

組合ノ所謂強制設立トハ内務大臣ノ命令ニ基キテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ

謂フモノトス (大正十五年十二月十一日附發保第五四三號ヲ以テ保險部ヨリ岐阜大垣市外木戸二百

番地中央毛糸紡績株式會社大垣工場杉谷四郎宛回答)

第三十四條

健康保險組合ノ成立時期 (令五六條)

健康保險組合ハ設立認可ノ指令書ノ日附ノ日ニ於テ成立スルモノトス合併及分割

ノ場合亦同シ但シ成立時期ヲ特定シテ認可ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ特定時期ニ於



テ成立スルコト勿論タリ  
健康保險組合ノ設立  
健康保險組合ノ設立  
健康保險組合ノ設立

組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スノ必要ナキモノトス (大正十五年十一月三日附保發第七  
二號ヲ以テ保險部長ヨリ富山縣西礪波郡戸出町戸出物産株式會社宛回答)

### 第三十六條

行政區劃變更等ト規約ノ變更 (規約例第三條第四條)

市町村ノ廢置分合、境界變更、大字名改稱、地番變更其ノ他行政區劃ノ變更アリ  
タルカ爲組合ノ規約ニ規定スル組合事務所ノ所在地又ハ事業ノ所在地若ハ健康保  
險法第三十三條ノ規定ニ依リ内務大臣ニ於テ一事業ト看做シタル作業ノ所在地ニ  
變更アリタル場合ニ於テハ規約中右ノ事項ハ當然變更セラレタルモノトス (昭和三  
年一月二十六日附發保第五號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒)

### 第四十三條

先天性子宮高度前屈ト保險事故タル疾病

先天性子宮高度前屈カ月經障害ト爲リ局部ノ劇痛ヲ感シ其ノ都度モルモル注射ヲ  
施シ鎮痛シ來レルモ今後仍該注射ヲ施スニ於テハ中毒症ヲ起ス憂アルカ故ニ今ノ  
中ニ手術ヲ施シテ子宮ヲ正位ニ復セシメ月經困難ヲ根治スルノ必要アルカ如キモ  
ノハ右ノ先天性子宮高度前屈ヲ保險事故タル疾病トシテ療養ノ給付ヲ爲スヘキモ  
ノトス (昭和二年十二月十三日附保理第三、八〇五號ヲ以テ保險部長ヨリ足尾銅山健康保險組合宛回答)

齒石除去ト療養ノ給付

齒石カ原因ヲ爲シ口腔疾病ヲ起シタル場合又ハ他ノ疾病治療ノ爲齒石除去ヲ必要  
トスル場合ニ限り健康保險ニ於テ療養ノ給付トシテ齒石ヲ除去スルモノトス (昭和  
三年一月二十四日附保理第一三九號ヲ以テ保險部長ヨリ三重健康保險署長宛回答)



神經衰弱ト保險事項タル疾病

神經衰弱ハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス (昭和三年六月十一日附事發第一、二四號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ那是健康保險組合宛回答)

義齒又ハ釘ノ類ヲ嚥下シタル爲遠和ヲ感スル場合ト保險給付

義齒又ハ釘ノ類ヲ嚥下シタル爲遠和ヲ感スル場合ニハ保險給付ヲ爲スヘキモノトス (昭和三年八月二十九日附保理第二〇七〇號ヲ以テ保險部長ヨリ日本製鋼所室蘭健康保險組合宛回答)

被保險者力診療ヲ申出テサルモ保險醫ニ於テ必要ト認メテ爲シタル齒牙殘根ノ拔去ト保險給付

被保險者ニ於テ何等診療ヲ申出テサルモ保險醫ニ於テ傷病ノ治療上必要ト認メテ先天下齒牙ノ殘根ヲ拔去スルニ保險給付ノ範圍タルモノトス (昭和三年九月二十二日附保理第二、三九三號ヲ以テ保險部長ヨリ三重健康保險署長宛回答)

蓄膿症ト保險事故タル疾病

蓄膿症ハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス (昭和二年三月二十二日附保理第一、二〇九號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒但シ東陽健康保險組合ニ對シテハ

保險部大阪出張所ヨリ回答) 千宮醫會宛書

肩關節脫臼ト療養ノ給付

肩關節脫臼ハ負傷ナルヲ以テ之カ療養ハ健康保險ニ於テ給付スヘキモノトス (昭和二年六月二十五日附保理第二、六二八號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答)

龜頭扁平贅肉ト保險事故タル疾病

龜頭扁平贅肉ハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス (昭和四年九月二十日附保理第一、二七號ヲ以テ保險部長ヨリ沖繩縣知事宛回答)

身體ニ遠和ヲ感セサル保徵毒者ニ對スル療養ノ給付

身體ニ遠和ヲ感セス就業中ノ者ナルモ保徵毒者ニシテ再三流産ヲ爲シタルコトアリ斯カル者ニ對シテハ醫師ニ於テ診察ノ結果現ニ徵毒患者ト證明セラルヘキモノ



詳細な治療上必要ナル療養ヲ給付スル爲メ其費用ヲ請求患(昭和四年二月十八日附保單第四  
 四八號)ノ被保險部長(リ)愛媛健康保險局長宛宛(特)請書ニシテ再三請求シ給付セシメ  
 長監ニ意味ヲ込メテハ給付書ニ付シテハ未ダ給付セシメ

**保險事故ナル疾病ノ範圍**

（新法野郎 第四十三卷）ル場合ト保險給付

一、**近視眼、老視眼、遠視眼、斜視、亂視、先天性兔眼、色盲**  
 二、**白毛、多毛、無毛**  
 三、**吃音、難聴、酒齶鼻**  
 四、**多汗症、無汗症、異汗症、毛蟲、皮脂漏**  
 五、**不妊症、閉鎖症、子宮屈傾、子宮頸管狭窄症、子宮發育障害**  
 六、**就業上著シキ障害ヲ起ササル程度ノ善性腫瘍、鵝眼、棘**  
 七、**先天性畸形**

九、**外科手術後ノ形態整形手術、隆鼻術、美容ヲ目的トスル瘰癧除去整形手術**  
 十、**文身除去手術其ノ他美容手術**  
 十一、**單方肩凝、腰痛、逆吐、栄養不良、疲勞及倦怠**  
 十二、**老衰、難萎、難癒ノ瘡**  
 十三、**普通ノ場合ニ於ケル瘡**  
 十四、**輕易ナル不眠症**  
 十五、**胎兒ノ位置異常**  
 十六、**左ニ掲ゲルモノハ醫師ニ於テ疾病ト認ムル程度ノモノニ非サレハ保險事故ト  
 疾病ノ範圍ニ屬セサルモノトス**  
 十七、**貧血、常習性便秘、夜尿症**  
 十八、**扁平足 不完全趾蓋又早衰、前歯齒齙、齒齙刺齙、刺齙癒癒**  
 十九、**包茎不取、良強困難、無目蓋**  
 二十、**火傷ニ因ル瘰癧及後天性兔眼**



五、禿頭病、腋臭、顏面白癩、癩風、粉瘤、疣贅

六、月經不順、月經困難、無月經

七、惡疽、不完全流產及早產、前置胎盤、過強陣痛、陣痛微弱

八、胎兒ノ下垂壓迫、赤痢症

九、關節彎縮、內翻足

二十、後天的眼瞼下垂

十一、吃逆

十二、傳染病豫防注射又ハ種痘ニ因ル發熱其ノ他異常容態

被保險者死亡後ノ處置ト療養ノ給付

被保險者業務上ノ事由ニ因リ即死シタル場合ニ於テ醫師カ繙帶ヲ施シ其ノ他加ヘタル處置ハ被保險者死亡後ノ處置ナルヲ以テ療養ノ給付ノ範圍ニ屬セサルモノトス(昭和二年九月二十一日附保理第三、三七二號ヲ以テ保險部長ヨリ北鎮健康保險組合宛回答)

組合員タル被保險者カ他ノ事業ノ業務ニ從事シ其ノ業務ニ基因シテ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ノ保險給付

組合員タル被保險者カ其ノ組合ノ設立アル事業ノ工場ヲ缺勤シ他ノ事業主ノ業務ニ從事シ其ノ業務ニ基因シテ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ト雖組合ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スヘキモノトス尙此ノ場合ニ於テハ其ノ組合ニ於テ業務上ノ事由ニ因ル疾病又ハ負傷ト認ムルコトヲ得サルモノトス(大正十五年十一月三日附保理第七二號ヲ以テ保險部長ヨリ富山縣西礪波郡戸田町戸出物産株式會社宛回答)

被保險者ノ資格取得前ニ罹リ又ハ受ケタル傷病ト療養ノ給付

被保險者ノ資格取得前ニ罹リタル疾病又ハ受ケタル負傷ニ付テモ療養ノ給付ヲ爲スヘキモノトス(昭和三年三月十四日附保理第五五六號ヲ以テ保險部長ヨリ電化青海工場健康保險組合宛回答)

一年內相當ノ期間被保險者タリシ者ニ限り齒ノ補綴ヲ爲ス取扱成



一、分娩内相當の期間被保険者少シ者ハ限リ補給ヲ爲ス力カ如キ取扱ハ違法タルモノトス (昭和二年九月二十一日附保第三、三七七號ヲ以テ保險部長ヨリ神奈川健康保險署長宛回答)

療養ノ給付ト分娩 (法五〇條)

療養ノ給付ハ疾病又ハ負傷ニ關シテシテ之ヲ爲スモノトシテ分娩ニ關シテハ之ヲ爲ササルモノトス尤モ分娩ノ場合ニ於テ疾病又ハ負傷ノ事故アルモノハ格別トス 妊娠四箇月以下ノ分娩ニ付亦同シ (昭和二年二月二十一日附保第五九七號ヲ以テ保險部長ヨリ秋田縣仙北郡大曲町健康保險會社ヨリ丹波宛回答)

分娩ノ場合ニ於ケル人工的處置ト療養ノ給付 (法五〇條)

分娩ノ場合ニ於ケル人工的處置ハ疾病又ハ負傷ノ療養ニ非サルヲ以テ療養ノ給付トシテ之ヲ爲スヘキモノトス (昭和二年二月一日附保第五四八號ヲ以テ保險部長ヨリ旭野會社健康保險署長宛回答)

分娩中疾病ノ治療上鉗子分娩等ノ手術ニ依リ分娩ヲ助ケタル場合ニ於ケル療養ノ給付ト助産ノ手當等トノ關係 (法五一條、令八一條)

被保險者ノ妊娠中ニ於ケル疾病ノ治療上必要ノ爲醫師ニ於テ鉗子分娩其ノ他ノ挽出術ニ依リテ分娩ヲ助ケタル場合ニ於テハ右ノ手術ハ療養ノ給付トシテ取扱フヘキモノニシテ且同時ニ助産ノ手當ヲ爲シタルモノナルヲ以テ分娩費ハ半額ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年六月二十二日附保第一二四八號ヲ以テ保險部長ヨリ岡山健康保險署長宛回答)

療養ノ範圍 (令七四條)

療養ノ範圍ヲ選定スルノ目的ヲ以テ醫師ニ就キ診察ヲ受クルカ如キハ健康保險ニ於テ爲ス療養ノ範圍ニ屬セサルモノトス (昭和二年三月十八日附保第一、二四八號ヲ以テ保險部長ヨリ日本硝子健康保險組合宛回答)

組合ノ所有ニ係ル醫療機械ノ貸與



組合組合医療機構ヲ購入シテ其組合ノ診療機關タル事業主經營ノ病院ニ對シ被保險者ノ診療設備トシテ貸與スルコトハ差支ナキモノトス (昭和三年六月十一日附事發第一、

二二四號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ那是健康保險組合宛回答)

病院ノ意義 (法四六條)

法第四十三條第三項及第四十六條ノ「病院」トアルハ原則トシテ病院取締規則 (廳

府縣令ヲ以テ規定スルモノ)ノ適用アル病院及醫院ヲ謂フモノトス但シ此ノ規定

ノナキ地方ニ在リテハ患者ヲ收容シ得ヘキ相當ノ設備ヲ有スル病院及醫院ヲ謂フ

モノトス尙前記ノ病院取締規則トハ病院又ハ醫院トシテ認ムル場合ノ要件タル設

備等ニ付テノ規定ヲ謂フモノトス (昭和二年二月一日附保醫第六四九號ヲ以テ保險部長ヨリ札

幌健康保險署長宛回答但シ病院取締規則ノ意義ハ昭和二年二月二十八日附保理第六九四號ヲ以テ保險部長

ヨリ福井健康保險署長宛回答)

傳染病預防法令ニ依リ傳染病院等ニ收容スルハ必要アリト認ムラレタル程度ノ疾病ト

健康保險ニ於ケル病院收容 (法六二條)

健康保險ノ被保險者ニシテ法定傳染病ニ罹リタル場合ニ於テ傳染病預防法令ニ依

リ傳染病院、隔離病舎等ニ收容スヘキ必要アリト認メラレタル程度ノ疾病ニ付テ

ハ健康保險ニ於テモ療養ノ給付トシテ病院ニ收容スルノ必要アル程度ノモノトス

(昭和二年一月二十五日附保醫第一〇號ヲ以テ保險部長ヨリ青森健康保險署長宛回答)

被保險者力任意入院シタル場合ニ於ケル費用ニ付テハ入院料

被保險者力任意入院シタル場合ニ於テハ入院シテ療養ノ給付ヲ受ケタル場合ニ於

ケル費用ト入院セスシテ療養ノ給付ヲ受ケタル場合ニ於ケル費用トノ差額ハ被保

險者ノ負擔ニ屬スルモノトス (昭和二年三月十六日附保理第九六八號ヲ以テ保險部長ヨリ宮城健

康保險署長宛回答)

被保險者力任意入院シタル場合ニ於ケル入院ノ必要ナル費用

被保險者ヲ病院ニ收容スルハ被保險者ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキニ限り之



被保險者ノ被保險者カ承認受ケル任意ニ入院シタルトキハ後日  
保險者ニ於テ其ノ入院ヲ認ムルハ極別然ラズル場合ニ於テハ入院ノ爲メシタル費  
用ハ療養ニ要シタル費用中入院セサル場合ニ要スヘカリシ費用ヲ控除シタル額ハ

當該被保險者ノ負擔タルモ又トス(昭和二年四月九日附保經第五九號ヲ以テ保險部長即  
山口健康保險署長宛回答)

被保險者カ特ニ普通ノ患者トシテ入院シ療養ノ給付ヲ受クヘキ正規ノ手續ヲ經テ  
リシカ如キ場合ニハ入院ニ要シタル費用ハ被保險者本人ニ於テ負擔スヘキモノト  
ス(昭和二年十月十二日附保理第三、三、五二號ヲ以テ保險部長ヨリ東京モスリン吾國健康保險組合宛回  
答)

被保險者カ特ニ普通ノ患者トシテ入院シ療養ノ給付ヲ受クヘキ正規ノ手續ヲ經テ  
リシカ如キ場合ニハ入院ニ要シタル費用ハ被保險者本人ニ於テ負擔スヘキモノト  
ス(昭和二年十月十二日附保理第三、三、五二號ヲ以テ保險部長ヨリ東京モスリン吾國健康保險組合宛回  
答)

被保險者カ特ニ普通ノ患者トシテ入院シ療養ノ給付ヲ受クヘキ正規ノ手續ヲ經テ  
リシカ如キ場合ニハ入院ニ要シタル費用ハ被保險者本人ニ於テ負擔スヘキモノト  
ス(昭和二年十月十二日附保理第三、三、五二號ヲ以テ保險部長ヨリ東京モスリン吾國健康保險組合宛回  
答)

被保險者カ特ニ普通ノ患者トシテ入院シ療養ノ給付ヲ受クヘキ正規ノ手續ヲ經テ  
リシカ如キ場合ニハ入院ニ要シタル費用ハ被保險者本人ニ於テ負擔スヘキモノト  
ス(昭和二年十月十二日附保理第三、三、五二號ヲ以テ保險部長ヨリ東京モスリン吾國健康保險組合宛回  
答)

金錢ニ依ル保險給付ヲ受クル權利者死亡ノ場合ニ於ケル之カ權利ノ承繼者 (法四五條。  
五〇條)

療養費、傷病手當金、出産手當金及分娩費ヲ受クル權利アル者死亡シタル場合ニ  
於テハ之カ權利ハ其ノ者ノ相續人ニ於テ承繼スヘキモノトス(昭和二年二月十六日附保  
理第七四七號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答)

傳染病院等ニ收容セラレタル者ノ療養ニ要スル費用 (法六二條。令七七條)

傳染病豫防法令ニ依リ傳染病院、隔離病舎等ニ收容セラレタル者ニ對シテハ健康  
保險法第六十二條第二項ノ規定ニ依リ健康保險ニ於テ療養ノ給付ヲ爲ササルモノ  
ナルモ收容セラレタル者カ療養ニ要スル費用ノ一部又ハ全部ヲ負擔スヘキ場合ニ

於テハ其ノ負擔スヘキ部分ハ健康保險ニ於テ療養費トシテ支給スルモノトス(昭  
和二年一月二十五日附保醫第一一〇號ヲ以テ保險部長ヨリ青森健康保險署長宛回答)

第四十五條



法第四十五條ノ療養ノ爲ノ意義

法第四十五條ノ「療養ノ爲」トハ之ヲ廣義ニ解スヘキモノトス即チ保險給付トシテ受クル療養ノ爲ノミニ限ラス然ラサル療養ノ爲ヲモ含ムモノトス (昭和二年三月二十六日附保發第三四五號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

十六日附保發第三四五號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒

療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル程度 (法二〇條。五五條)

法第四十五條ノ「勞務ニ服スルコト能ハサル」ノ程度ハ工場又ハ事業場ニ於テ從事スル勞務ニ服スルコト能ハサル程度ヲ謂フモノトス尙法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニシテ事業ニ使用セラレサル者又ハ被保險者ノ資格喪失後ノ者ニシテ事業ニ使用セラレサル者ニ在リテハ右ノ「勞務ニ服スルコト能ハサル」程度ハ工場又ハ事業場ニ於テ從事シタリシ當時ノ勞務ニ服スルコト能ハサルト同程度ノモノヲ謂フモノトス (昭和二年四月二十七日附保理第一、八五七號ヲ以テ保險部長ヨリ東京毛織大垣健康保險組合宛回答)

法第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル」ノ程度ト檢束處分ヲ受クルニ至リタル原因タル行動又ハ他ノ事務ニ服シタル行爲等 (法六三條)

法第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル」トアル勞務ニ服スルコト能ハサル程度ハ被保險者カ工場又ハ事業場ニ於テ從事スル勞務ニ服スルコト能ハサル程度ノモノタルコトヲ要スルモノナルカ故ニ檢束處分ヲ受クルニ至リタル原因タル行動又ハ他ノ事務ニ服シ若ハ旅行ヲ爲シタルカ如キ行動ヨリ見テ前記ノ程度ニ照シ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルモノト認メ難キ場合ニ於テハ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス尙右ノ如キ行動ヲ爲スモ前記ノ程度ニ照シ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルモノト認メ得ヘキ場合ト雖保險醫カ療養ニ關シ被保險者ニ對シ斯クノ如キ行動ヲ爲スコトヲ豫メ禁シタル場合ノ如キハ法第六十三條ニ該當スルモノトシテ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルモ可ナルモノトス (昭和二年九月二十二日附保理第三、二八三號ヲ以テ保險部長ヨリ東京市電氣局健康保險組合宛回答)



勞務ニ服スルコト能ハサル期間ノ起算日

法第四十五條ノ勞務ニ服スルコト能ハサル期間ハ勞務ニ服スルコト能ハサル状態ニ置カレタル日ヨリ之ヲ起算スルモノトス但シ其ノ状態ニ置カレタル時カ業務終了後ナル場合ニ於テハ翌日ヨリ之ヲ起算スルモノトス

自費ヲ以テセル療養ト傷病手當金 (則五七條)

健康保險ノ給付ヲ受ケス自費ヲ以テ疾病又ハ負傷ノ療養ヲ爲シタル場合ニ於テモ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル期間ハ傷病手當金ヲ支給スルモノナルヲ以テ被保險者ハ斯クノ如キ場合ニ於テモ之カ支給ノ請求ヲ爲シ得ヘキモノトス但シ右ノ支給請求書ニハ健康保險法施行規則第五十七條第二項ノ規定ニ依ル書類ノ添附ヲ要スルコトハ勿論トス (昭和二年四月九日附保理第一、二〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ埼玉縣北埼玉郡三俣村武州製絲株式會社丸山做正宛回答)

服藥又ハ受療ノ日ト傷病手當金ノ支給

傷病手當金ハ服藥又ハ受療ノ日ノ如何ニ拘ラス療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル日ノ分ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年四月二十七日附保理第一、八二七號ヲ以テ保險部長ヨリ菊井紡織健康保險組合宛回答)

保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサル疾病ノ手術ヲ爲シタル爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ニ於ケル傷病手當金 (法四三條)

保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサル疾病又ハ先天的障害ニ對シ被保險者カ自己ノ費用ヲ以テ手術ヲ施シ爲ニ勞務ニ服スルコト能ハサリシ場合ニ於テハ傷病手當金ヲ支給セサルモノトス (昭和四年六月二十九日附保理第一、七〇四號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長宛回答)

任意繼續被保險者失業ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ト傷病手當金 (法二〇條)

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者カ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ勞務アリトセハ之ニ服シ得ル状態ナルモ失業ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルカ如キハ法



第四十五條ノ「療養ノ爲」ニ該當セサルヲ以テ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス（昭和二年四月四日附保理第一、五三三號ヲ以テ保險部長ヨリ東京計器健康保險組合宛回答）

休業中家事ノ副業ニ從事シタル場合ニ於ケル傷病手當金

傷病ノ療養ノ爲休業中ニ家事ノ副業ニ從事シタル場合ト雖該傷病ノ状態カ工場ニ於ケル勞務ニ服シ得サル程度ノモノナリトセハ傷病手當金ヲ支給スヘキモノトス而シテ斯カル場合ニ於テ傷病手當金ヲ減額シテ支給スルコトヲ得サルモノトス（昭和三年十二月二十七日附保理第三、一七六號ヲ以テ保險部長ヨリ明治館健康保險組合宛回答）

被保險者療養中ニ内職ヲ爲シ收入ヲ得タル場合ト傷病手當金ノ支給額（法五八條）

被保險者郷里ニ歸省シテ療養ヲ爲シタル場合ニ於テ適度ナル内職ヲ爲シ收入ヲ得タルモ該收入ハ健康保險法ニ規定スル報酬ニ非サルヲ以テ傷病手當金ハ標準報酬日額ノ百分ノ六十二ニ相當スル額ヲ支給スヘキモノトス（昭和二年四月二十七日附保理第一、八二七號ヲ以テ保險部長ヨリ菊井紡織健康保險組合宛回答）（病院ニ收容セラレタル場合ニ

於ケル傷病手當金ノ額ハ施行令第七十九條ニ依ルコト勿要トス）

第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル期間」ノ範圍

法第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間」トアルハ病後ニ於ケル静養ノ期間及醫師ニ就キ疾病又ハ負傷ノ診療ヲ受クヘキ場合ニ於テ醫師ノ許ニ赴ク爲ニ要シタル日ノ如キヲモ含ムモノトス（昭和二年四月二十七日附保理第三四五號ヲ以テ保險部長ヨリ鳥取健康保險署長宛回答）

法第四十五條、第四十九條、第五十條及第七十四條ノ報酬日額ト施行令第三條ノ報酬日額トノ異同（法四九條。五〇條。七四條。令三條）

法第四十五條、第四十九條第一項、第五十條及第七十四條ノ「報酬日額」トアルハ施行令第三條ノ「報酬日額」ト異ナリ同條ノ「標準報酬日額」ニ該當スルモノトス

工場ノ公休日ニ於ケル傷病手當金



工場ノ公休日ト雖療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル状態ニ在ラハ傷病手當金ハ之ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年二月五日附保理第六五九號ヲ以テ保險部長ヨリ日清紡績株式會社岡崎工場健康保險組合宛回答)

**産褥熱ト傷病手當金**

産褥熱ハ疾病ナルカ故ニ之カ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル期間ハ傷病手當金ヲ支給スヘキモノトス但シ法第四十五條但書ノ待期間ハ支給セサルコト勿論タリ (昭和二年三月十八日附保理第一、二六八號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣遠賀郡香月村岩崎鑛業所宛回答)

**就業時間中ニ傷病ノ療養ノ爲勞務不能ト爲リタル日ト傷病手當金支給日數 (法四七條)**

被保險者カ勞務ニ服シタルモ就業時間中ニ傷病ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルコトト爲リタル場合ニ於テハ其ノ傷病ハ業務上ノ事由ニ因ル傷病ニ在リテハ其ノ日ハ傷病手當金支給日數ニ加算セラレ又業務上ノ事由ニ因ラサル傷病ニ在リ

テハ其ノ日ハ傷病手當金支給待期三日ノ中ニ包含セララルモノトス而シテ右兩者ノ場合共其ノ日ニ被保險者カ賃金ノ全部又ハ一部ヲ受ケタルト否トハ問フ所ニ非ザルモノトス (昭和三年七月九日附保理第一、七一九號ヲ以テ保險部長ヨリ埼玉縣北埼玉郡三俣村武州製絲株式會社淺倉直三郎宛回答)

**疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ者カ勞務ニ服シ其ノ日更ニ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ト其ノ日ノ傷病手當金**

疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ者カ其後勞務ニ服シ其ノ日更ニ右ノ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ハ其ノ日ハ一旦勞務ニ服シタルヲ以テ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス (昭和二年三月二十八日附保理第一、三〇三號ヲ以テ保險部長ヨリ新潟鐵工所蒲田工場健康保險組合宛回答)

**就業シツツ療養ヲ受クル場合ニ於テ療養ノ爲一日ノ作業時間中若干時間休業スル場合ト傷病手當金**



被保險者カ疾病ニ罹リ就業シツツ療養ヲ受クル場合ニ於テ毎日醫師ノ許ニ行クカ  
 就業爲一日ノ作業時間中若干時間ヲ休業スルコトアルモ此ノ場合ニ於テハ其ノ日ハ勞  
 務ニ服スルヲ以テ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス (昭和二年四月九日附保第  
 一、六八三號ヲ以テ保險部長ヨリ金子製絲場健康保險組合宛回答)

分娩ノ日以後四十二日ヲ過キ其ノ分娩ノ爲仍勞務ニ服セサル場合ト傷病手當金 (法五〇  
 條。令八〇條)

分娩ノ日以後四十二日ヲ過キ單ニ其ノ分娩ノ爲仍勞務ニ服セサルモ傷病手當金ハ  
 之ヲ支給スヘキモノニ非ス (昭和二年四月二十七日附保第一、九二〇號ヲ以テ保險部長ヨリ山  
 口健康保險署長宛回答)

被保險者カ負傷シタル場合ニ於テ從來ノ業務ト異ル他ノ安易ナル業務ニ服シタル場合  
 ト傷病手當金

被保險者カ負傷ヲ爲シ十日間從來ノ業務ニ服スルコト能ハサリシモ其ノ中五日間

ハ比較的安易ナル他ノ業務(同一ノ工場ニ於テ)ニ服シ賃金ヲ得タルカ如キ場合ハ  
 此ノ五日間ハ勞務ニ服シタルモノナルヲ以テ此ノ五日間分ノ傷病手當金ヲ支給ス  
 (ヘカラサルモノトス (昭和二年六月三十日附保第二、六六七號ヲ以テ保險部長ヨリ山口健康保險署  
 長宛回答) (疾病ニ罹リタル場合ニ在リテモ同様トス)

癩疾ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ト傷病手當金

被保險者負傷ノ爲癩疾ト爲リ其ノ負傷ニ付療養ノ必要ナキニ至リタル場合ニ在リ  
 テハ勞務ニ服スルコト能ハスト雖斯クノ如キハ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサ  
 ルモノニ該當セサルヲ以テ此ノ場合ニハ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス  
 (昭和二年十月十一日附保第三、四八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ大倉鐵業無煙炭礦健康保險組合宛回答)

鑛夫勞役扶助規則ニ依ル休業扶助料ヲ受クル間ニ新ニ業務外ノ疾病ニ罹リ之カ療養ノ  
 爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ニ於ケル傷病手當金 (鑛夫勞役扶助規則一九條、二六條ノ



二 被保險者業務上ノ事由ニ因ル負傷ニ付傭夫勞役扶助規則ニ依ル休業扶助料ヲ受ケ  
 職務ツツアル間ニ新ニ業務外ノ事由ニ因ル疾病ニ罹リ其ノ疾病ノ療養ノ爲勞務ニ服ス  
 難夫ルコト能ハサル場合ニ於テハ傷病手當金全額ヲ支給スヘキモノトス而シテ此ノ傷  
 病手當金ノ支給ヲ受クル間ハ休業扶助料ノ支給ヲ受ケ得サルモノトス (昭和二年十  
 二月十三日附保理第三、八〇五號ヲ以テ保險部長ヨリ足尾銅山健康保險組合宛回答)

傷病手當金ノ支給ヲ受クル者カ代人ヲシテ勞務ニ服セシメタル場合ニ於ケル兩者ノ關  
 係 (法一三條。令九條)

被保險者甲ハ業務上ノ事由ニ因ラサル疾病ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト不能ト爲  
 リタルヲ以テ其ノ期間傷病手當金ノ支給ヲ受ケタルモ年末賞與等ノ減額セラルル  
 コトヲ慮リ代人乙ヲシテ本人甲ノ名ヲ以テ勞務ニ服セシメ且報酬ヲ受領セシメタ  
 リ此ノ場合ニ於テハ勞務供給ニ關シテハ甲ト乙トハ別個ノモノニシテ甲カ傷病手  
 當金ヲ受ケタルコトハ正當ナリ而シテ乙ニ付テハ健康保險法施行令第九條ニ依リ

被保險者資格取得ノ有無ヲ考慮スヘキモノトス (昭和三年七月十九日附保理第一、八三三號  
 ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長宛回答)

精神病患者タル被保險者ニ對スル傷病手當金ノ請求者

傷病手當金ハ被保險者カ精神病患者タル場合ト雖其ノ本人ノ名ヲ以テ請求スヘキ  
 モノニシテ之カ請求アラハ本人ニ對シ支給決定ヲ爲スコトヲ要スルモノトス但シ  
 決定ヲ受ケタル傷病手當金ヲ代理者ニ於テ受取ルハ妨ケナキモノトス (昭和二年七  
 月二十日附保理第二、六九八號ヲ以テ保險部長ヨリ大分健康保險署長宛回答)

被保險者ノ死亡當日ノ傷病手當金 (法十八條)

被保險者死亡シタル場合ニ於テハ死亡當日ハ仍被保險者ノ資格アルヲ以テ其ノ日  
 ノ傷病手當金ハ之ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年三月四日電報ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣  
 遠賀郡香月村岩崎鐵業所宛回答)

業務上ノ事由ニ因ル傷病ナリヤ否ヤノ別



一、負傷ヲ受ケタル時カ被保險者ノ資格取得前ト雖其ノ負傷カ其ノ者ノ使用セララル事業ニ於ケル業務上ノ事由ニ因ルモノトセハ被保險者ノ資格取得後保險給付ヲ爲ス場合ニ於テモ其ノ負傷ハ依然業務上ノ事由ニ因ル負傷ナルモノトス故ニ保險給付ニ當リ之ヲ業務上ノ事由ニ因ラサル負傷トシテ取扱フカ如キハ不可然モノトス

附(疾病ニ付テモ亦同シ) (昭和二年五月二日附保理第一、九五八號ヲ以テ保險部長ヨリ岩手健康保險署長宛回答)

二、現場監督トシテ業務上ノ指揮權ヲ有スル被保險者甲カ被保險者乙ニ對シ業務上ノ指揮ヲ與ヘタルニ乙ハ之ニ反抗シ甲ヲ毆打シ負傷セシメタル場合ニ於テハ甲ハ假令業務ヲ遂行セムカ爲ニ蒙リタル負傷ナリト雖該負傷ヲ業務上ノ事由ニ因ル負傷ト認ムヘキモノニ非ルモノトス (昭和二年十二月五日附發第二、七七八號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ滋賀健康保險署長宛回答)

三、屋外作業ヲ必要トスル業務ニ炎天下ニ於テ從事中罹リタル日射病ハ業務上ノ事由ニ因ル疾病ニ該當スルモノト思料セラル (昭和二年十一月十七日附保理第三、三六四號ヲ以テ

保險部長ヨリ千葉健康保險署長宛回答)

四、痘種接種又ハ腸窒扶斯豫防注射ノ結果種痘セル部位ヨリ微菌侵入シタル爲又ハ注射ノ反應激甚ナル爲發熱シ疼痛ヲ訴フルカ如キ場合ニ於テ右ノ種痘又ハ腸窒扶斯豫防注射カ事業主ノ強制ニ由ルモノナリト雖斯クノ如キハ業務上ノ事由ニ因ラサル疾病トシテ取扱フヘキモノトス (昭和三年五月三十日附事發第一、二三九號ヲ以テ保險部大阪出張所ヨリ島津製作所健康保險組合宛回答)

五、發電所勤務ノ發電手タル被保險者カ常務ノ餘暇架設工事ニ從事中該工事ノ爲負傷ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ負傷ハ業務上ノ事由ニ因ル負傷トシテ取扱可然モノトス (昭和三年十月十三日附保理第二、六八一號ヲ以テ保險部長ヨリ福井健康保險署長宛回答)

六、捲揚機ニ搭乘スルコトヲ事業主カ嚴禁セルニモ拘ラス搭乘シ又ハ危險豫防ニ關スル監督者ノ眼ヲ盜ミテ炭車ニ飛乗リタルカ爲ニ受ケタル負傷ハ業務上ノ事由ニ因テ業ル負傷ニ該當スルモノトス (昭和三年十月四日附保理第二、五六九號ヲ以テ保險部長ヨリ磐城炭礦健康保險組合宛回答)



法第四十五條但書ノ待期ノ日數

業務上ノ事由ニ因ラサル疾病ニ付テハ之カ療養人爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ日カ三日間連續シタル後ニ非サレハ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス（昭和二年三月十七日附保理第一、一七六號ヲ以テ保險部長ヨリ近江朝雄健康保險組合宛回答）

法第五十四條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル期間内ニ於ケル法第四十五條但書ノ待期ノ起算日（法五四條）

法第五十四條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル期間内ト雖法第四十五條但書ノ待期ハ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ニ依リ起算スヘキコトハ一般ノ場合ト何等異ナルコトナキヲ以テ出產手當金ノ期間終了後特ニ傷病手當金支給ノ待期ヲ置クノ必要ナキモノトス（昭和二年三月十八日附保理第一、一五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ千葉健康保險署長宛回答）

異ナル疾病又ハ負傷ト法第四十五條但書ノ待期

法第四十五條但書ノ待期ハ疾病又ハ負傷ノ異ナル毎ニ之カ適用アルモノトス但シ或ル疾病又ハ或ル負傷ニ因リ發シタル疾病ニ在リテハ後ノ疾病ニ付テ待期ノ適用ナキモノトス（昭和二年三月二十六日附保理第一、四九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ福井縣南條郡武生町大同肥料株式會社宛回答）

同一ノ傷病ニ付中途ニ於テ勞務ニ服シタル場合ト法第四十五條但書ノ待期

法第四十五條但書ノ待期ハ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲最初ニ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テノミ適用アルモノトス即チ其ノ後勞務ニ服シ（醫師ノ指示ニ基キタルト否トヲ問ハス）其ノ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲更ニ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ待期ノ適用ナキモノトス（昭和二年三月十一日附保理第一、〇八五號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答）



第四十七條

法第四十七條ノ同一ノ疾病又ハ負傷ノ範圍

法第四十七條第一項ノ「同一ノ疾病又ハ負傷」トアルハ再發ニ係ルモノヲ含マサル

モノトス 正則監督官ノ裁決ハ其ノ再發又ハ再發ノ疾病又ハ再發ノ負傷ニ係ルモノトシテハ

同一ノ疾病ニ付中絶ニ致シ得ルニ至ルハ同一ノ疾病ニ係ルモノトシテハ

断續シテ療養ノ給付ヲ爲ス疾病ト雖其ノ疾病力連續セルモノトセハ同一ノ疾病ト

認ムヘキモノトス (昭和二年十一月十七日附保理第三、七七七號ヲ以テ保険部長ヨリ愛知縣醫師會

長宛回答)

醫師ノ付シタル病名ノ異ル場合ト法第四十七條ノ關係

醫師ノ付シタル病名カ異ル場合ト雖モ疾病其ノモノカ同一ナルコト明カナルトキ

ハ法第四十七條ニ所謂同一ノ疾病ニ該當スルモノトス (昭和四年八月三十日附保規第四

五號ヲ以テ保険部長ヨリ合同毛織大垣健康保健組合宛回答)

療養ノ給付及傷病手當金ノ期間ノ計算 (法四十五條)

法第四十七條ニ於テ「其ノ保險給付」トアルハ療養ノ給付及傷病手當金ニ付キ各別

二百八十日ノ期間ヲ計算スヘキ義ナリトス (昭和四年六月十一日附保理第一七七〇號ヲ以テ

保険部長ヨリ各各健康保險署長及健康保險組合宛通牒)

療養ノ給付期間ト傷病手當金ノ支給期間トノ關係 (法四十五條)

療養ノ給付開始後第四日目ヨリ傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ療養ノ給付

ノ期間終了後三日間迄傷病手當金ヲ支給シ得ルモノトス (昭和四年五月二十日附保理第

一、六七五號ヲ以テ保険部長ヨリマツダ健康保險組合宛回答)

保險者變更ノ場合ト法第四十七條ノ期間



法第四十七條ノ期間ハ保險者變更ノ場合ニ於テハ之ヲ通算スルモノトス (昭和二年四月一日附保理第一、六二〇號ヲ以テ保險部長ヨリ入山健康保險組合宛回答)

出産手當金ノ支給ト傷病手當金ノ支給期間トノ關係 (法五四條)

傷病手當金ノ支給ヲ受クル中途ニ於テ出産手當金ノ支給ヲ受ケタルカ爲傷病手當金ノ支給ヲ受クルコトヲ得サリシ場合ト雖傷病手當金ノ支給ハ其ノ支給ヲ開始シタル日ヨリ百八十日目ヲ以テ打切ルモノトス (昭和四年六月二十一日附保理第一、八一八號ヲ以テ保險部長ヨリ山形健康保險署長宛回答)

法第五十八條ニ該當スル場合ニ於ケル傷病手當金支給ノ開始日 (法第五八條、令第八五條)

被保險者カ法第五十八條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル期間ト雖法第四十七條ノ傷病手當金ノ支給ノ開始日ハ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ (業務上ノ事由ニ因ラサル傷病ノ場合ニハ三日ノ待期終了ノ日ノ翌

日ヨリ) 起算スベキモノトス (昭和四年八月二十日保規第三一號ヲ以テ保險部長ヨリ明治鐵業

赤池健康保險組合宛回答)

同一ノ疾病ニツキ療養繼續中ノ者法第六十二條第一項ニ該當シタル場合ノ期間ノ計算 (第六二條)

同一ノ傷病ニ付療養繼續中ノ者法第六十二條第一項ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テモ其ノ期間ハ百八十日ノ制限期間中ニ包含セラレルモノトス (昭和四年七月十日附事發第一、一七五號ヲ以テ社會局保險部大阪出張所長ヨリ那是健康保險組合宛回答) 一取、

業務上ノ事由ニ因ル疾病又ハ負傷ト然ラサル疾病又ハ負傷ニ付孰モ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ニ於ケル傷病手當金 (法四五條)

業務上ノ事由ニ因ル疾病又ハ負傷ニ付保險給付ヲ受クル期間ト業務上ノ事由ニ因ラサル疾病又ハ負傷ニ付保險給付ヲ受クル期間トカ重複スル場合ニ於テ是等兩者ノ疾病又ハ負傷ニ付孰モ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシトキハ傷病手當金



ハ之ヲ各別ニ計算支給スルモノニ非スシテ此ノ兩者ヲ通シテ計算支給スルモノトス

ス(昭和二年二月十七日附發第一二二號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各種健康保險組合宛宛答)

業上ノ事由ニ因テ業務中ニ受傷シタル者トシテ保險給付ヲ受ケルハ其間ノ業務上ノ事由ニ因

同ナル傷病ニ付法定期間給付ヲ受ケタル者力任意繼續被保險者ト爲リタル場合ニ於ケ

身健傷病ニ對スル保險給付ハ(法二〇條、四七條、四八條)又ハ遺言ニ付遺子遺養ニ遺産額ニ

同一ノ傷病ニ付療養ノ給付及傷病手当金ノ支給ヲ百八十日受ケタル者カ法第二十

條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルモ右ノ傷病ニ付テハ法第四十八條第一項ノ規定ニ

依ル繼續療養ノ給付ヲ受ケ得ルコトアルノ外療養ノ給付及傷病手当金ノ支給ヲ受

ケルコトヲ得サルモノトス(昭和二年十二月二十五日附發第二、六八二號ヲ以テ保險部大廳附發所

長ヨリ廣島健康保險署長宛宛答)

同一ノ疾病ニ付業務中ニ受傷シタル者ハ其ノ業務中ニ受傷シタル者トシテ保險給付ヲ受ケ

第四十九條

死體ノ一部分又ハ遺物ノ埋火葬ト埋葬料又ハ埋葬費(法五六條)

又ノ死體ノ一部分又ハ遺物ヲ埋葬若ハ火葬シタルモノニ付テモ埋葬料又ハ埋葬費ハ之

ヲ支給スルモノトス

法第四十九條第一項ノ「埋葬ヲ行フモノ」ノ意義(法五六條)

法第四十九條第一項ノ「埋葬ヲ行フモノ」トハ埋葬ノ事實如何ニ關セス埋葬ヲ行フ

ヘキ者ヲ謂フ義トス(昭和二年七月十四日保理第二、七八八號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長

宛宛答)

埋葬費ノ範圍(法五六條)

法第四十九條第二項ノ「埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額」トハ埋葬ニ直接要シ

タル實費額トス但シ被保險者ノ標準報酬日額ノ二十日分(改正法三十日分)ニ相當

スル金額(此ノ金額二十圓(改正法三十圓)未滿ノトキハ二十圓(改正法三十圓)ト

ス)ノ範圍内ニ止ムヘキモノトス法第五十六條第二項ノ場合亦同シ尙埋葬ニ直接

要シタル實費額トハ靈柩代又ハ之カ借料、靈柩運搬人夫賃、葬式ノ際ニ於ケル死

健康保險法 第四十九條

八七



者靈前供物代及僧侶ノ謝禮等ノ如キモノトス (昭和二年二月二十八日附保第七六五號ヲ以テ保險部長ヨリ神奈川健康保險署長宛回答)

死體移送費ト埋葬費 (法五六條。則六〇條)

被保險者カ病院ニ收容セラレ療養ヲ受ケツツアル間ニ死亡シタル場合ト雖其ノ死體ヲ自宅迄ニ移送ノ爲要シタル費用ハ埋葬費中ニ包含請求スヘキモノニ非サルモ

第五十條

健康保險ノ保險事故タル分娩

健康保險ニ於テ分娩ノ給付ヲ爲スハ妊娠四箇月以上(一箇月ハ二十八日ヲ以テ計算ス)ノ分娩ニシテ此ノ分娩ニハ生産ノミナラス死産及流産ヲモ含ムモノトス

(昭和二年九月二十一日附保第三、三九五號ヲ以テ保險部長ヨリ岸和田紡績健康保險組合宛回答)

(即チ右ノ妊娠四箇月以上トハ妊娠八十五日以上ヲ謂フ義トス)

父ノ不明ナル私生子ノ分娩ト分娩ニ關スル給付

健康保險ニ於テ分娩ニ關スル給付ヲ爲スノ目的ハ主トシテ母體ヲ保護スルニ在ルヲ以テ父ノ不明ナル私生子ノ分娩ノ場合ト雖給付ヲ爲ササルヘカラサルモノトス (昭和二年二月十七日附保第七九二號ヲ以テ保險部長ヨリ片倉姫路健康保險組合宛回答)

人工ニ依リテ爲ス分娩ト分娩費

母體ノ保健上人工ニ依リテ爲ス分娩ニ付テモ分娩費ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年二月一日附保第五四八號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答) (出産手當金モ支給ス

童養ヘキモノトス)

分娩ノ場合ニ於ケル人工的處置ノ内容

分娩ノ場合ニ於ケル人工的處置トハ左ノ如キモノヲ謂フモノトス

- 一 軟部産道擴張處置
- 二 即チ子宮頸管及子宮口ノ擴張處置、膈及外陰部ノ擴張處置等ナリ



二骨部産道又は骨盤を擴大處置し、又は長頸縮小を爲す處置を爲すこと  
一即ち胎骨の縫合又は一切開處置等ナリ

三人工破水處置ハ人工的破水シテハ式ハ破水手ハマ開テテハス  
合致シテ合二（昭和三年五月九日附保連第一〇一三號ヲ以テ保険部長ヨリ秋田健康保険署長宛回答）

産婆ノ手ヲ藉ラサル分娩ト保險給付

産婆ノ手ヲ藉ラスシテ爲シタル分娩ト雖保險給付ハ之ヲ爲スヘキモノトス（昭和二年三月十一日附保連第一〇一五號ヲ以テ保険部長ヨリ大倉製炭無煙炭礦健康保険組合宛回答）

公共ノ施設ニ係ル産院ニ公費ヲ以テ收容セラレテ分娩シタル場合ニ於ケル分娩費ノ額

（法五七條。令八四條）

被保險者資格喪失後百八十日以内ニ分娩シタル場合ニ於テ其ノ分娩カ公共ノ施設ニ係ル産院ニ公費ヲ以テ收容セラレテ爲シタルモノト雖分娩費二十圓ノ支給ヲ受ケルモノトス（昭和三年七月二十日附保連第一八五五號ヲ以テ保険部ヨリ大阪府大阪市東淀川區國

次町五百二十一番地谷口右左司宛回答）（被保險者資格喪失前ニ於ケル分娩ニ付テモ亦同シ）

雙兒分娩ノ場合ト分娩費

雙兒分娩ノ場合ト雖保險事故タル分娩ハ一ナルヲ以テ分娩費ハ二十圓（産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタルモノハ十圓）ヲ支給スヘキモノトス但シ胎兒毎ニ胎盤ヲ有シ一産兒ヲ排出シ次テ其ノ後産ヲ排出シ更ニ他ノ一産兒ヲ排出シ次テ其ノ後産ヲ排出スルカ如キハ産兒毎ニ分娩ヲ異ニスルモノナルヲ以テ斯カル場合ニ於テハ産兒毎ニ分娩費ヲ支給スヘキモノトス（昭和二年五月四日附保連第一、九〇三號ヲ以テ保険部長ヨリ東洋モスリン總戶工場健康保険組合宛回答）

工場ノ公休日ニ於ケル出産手當金（令八〇條）

工場ノ公休日ト雖分娩豫定日前二十八日間又ハ三十五日間、分娩ノ日以後四十二日間ニ勞務ニ服セサル状態ニ在ラハ出産手當金ハ之ヲ支給スヘキモノトス（昭和二年



年二月五日附保第六五九號ヲ以テ保險部長ヨリ日清紡績株式會社岡崎工場健康保險組合宛回答)

工部八公村日清紡績株式會社岡崎工場健康保險組合宛回答) 昭四十二

分娩前死亡シタル場合ニ於ケル出産手當金

妊娠ノ爲休養中分娩前ニ死亡シタル場合ト雖分娩豫定日前法定期間内ニ於テ勞務

ニ服セザリシ期間ニ對スル出産手當金ハ之ヲ支給スヘキモノトス(昭和四年六月二十

七日附保第一八二九號ヲ以テ保險部長ヨリ廣島健康保險署長宛回答)

附保第一八二九號ヲ以テ保險部長ヨリ廣島健康保險署長宛回答)

産院ノ意義

法第五十一條「産院」トハ妊婦ヲ收容シ出産セシムルニ足ル相當ノ設備ヲ有スル

モノヲ謂フ義ニシテ産婆ノ經營スル所謂妊婦預リ所ノ如キヲ含マサルモノトス

(昭和二年三月二十三日附保第一、一五四號ヲ以テ保險部長ヨリ神奈川縣川崎市小川町産婆宮田サダ宛回

答)

法第五十一條第一項ノ趣旨

保險者ハ助産ノ手當ヲ受クル被保險者ヲ更ニ産院ニ收容シ得ルモノトス即チ法第

五十一條第一項ノ規定中「産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得」トアル

ハ産院收容ト助産ノ手當ノ兩者ノ中其ノ一ニ限ル趣旨ニ非サルモノトス(昭和三年

十二月二十日附保第三、一一九號ヲ以テ保險部長ヨリ内閣印刷局長宛回答)

胎兒死亡ニ付之カ處置ノ爲ノ入院及手術ヲ保險給付トシテ爲ス場合ニ於ル費用及此ノ

場合ニ於ケル分娩費額 (令八一條、則様式七號)

胎兒死亡ニ付之カ處置ノ爲入院シ手術ヲ受クルコトヲ要スルニ付右ノ入院及手術

ヲ保險給付トシテ爲ス場合ハ之カ費用ハ助産ノ手當ノ費用トシテ支出スヘキモノ

ニシテ療養費トシテ支出スヘキモノニ非ス尙此ノ場合ノ分娩費ハ半額ヲ支給スル

モノトス(昭和二年十一月二十二日附ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ東陶健康保險組合宛回答)

第五十三條

健康保險法 第五十一條。第五十三條



分娩前後保険者變更ノ場合ニ於テ給付ヲ爲ス保險者 (令八〇條、八三條)

分娩前後ニ保險者ノ變更アリタル場合ニ於テ分娩ニ關スル給付ヲ爲ス保險者ハ分娩ノ日前二十八日又ハ三十五日ノ間、分娩ノ日以後四十二日ノ間ニ於ケル保險者トス尙此ノ場合ニ於テハ給付ヲ爲シタル保險者ニ於テ關係保險者ニ對シ分擔金ヲ求償スヘキモノトス

第五十四條

法第五十四條ノ適用ヲ受クル期間中ニ病院ニ收容セラレタル場合ニ於ケル出産手當金ノ額 (令七九條、八一條)

傷病ト分娩トノ事故競合シ法第五十四條ノ適用ヲ受クル期間中ニ病院ニ收容セラレタル場合ニ於テハ出産手當金ハ施行令第七十九條及第八十一條第二項ノ趣旨ニ鑑ミ減額シテ支給スヘキモノトス (昭和二年六月二十二日附保理第二、四八八號ヲ以テ保險部長ヨリ岡山健康保險局長宛回答)

第五十五條

法第五十五條ニ依リ繼續シテ受ケ得ル給付

被保險者ノ資格喪失後法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ受クルコトヲ得ヘキ給付ハ被保險者ノ資格喪失ノ際受クル給付ノミニ限ルモノトス例ヘハ資格喪失ノ際疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ノミヲ受クルモノニ在リテハ資格喪失後被保險者トシテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間内ニ其ノ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ト雖傷病手當金ノ支給ハ之ヲ受クルコトヲ得サルカ如シ (昭和二年四月七日附保理第一、四二三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及各健康保險組合宛通牒)

資格喪失ノ際繼續シテ給付ヲ受ケ得ル疾病又ハ負傷

被保險者ノ資格喪失ノ際繼續シテ給付ヲ受ケ得ル疾病又ハ負傷ハ資格喪失當時ニ給付ヲ受クル疾病又ハ負傷ニ限ルモノニシテ其ノ疾病又ハ負傷ノ治癒後發生スル



疾病又ハ負傷ヲ含マサルモノトス (昭和二年二月一日附保理第三三〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岐  
阜健康保險署長宛回答)

法第五十五條ノ規定ニ依リテ爲ス療養ノ給付ノ程度 (法四三條。令七四條)

法第五十五條ノ規定ニ依リテ爲ス療養ト雖保險者ニ於テ必要ト認ムル處置若ハ手  
術ヲ爲シ又ハ病院ニ收容スヘキモノニシテ是等ノ給付ハ被保險者ノ資格ノ有無ト  
何等關係ナキモノトス (昭和二年十月十四日附ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ大阪府堺市七道東  
町百四十八番地池上平也宛回答)

法第四十五條但書ノ待期ノ爲被保險者資格喪失ノ際傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル場合  
ト法第五十五條トノ關係 (法四五條)

業務上ノ事由ニ因ラサル疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至  
リタル日ヨリ第三日目ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ資格喪失  
ノ際傷病手當金ノ支給ヲ受ケサルヲ以テ資格喪失後ト雖傷病手當金ノ支給ヲ受ケ

得サルモノトス即チ此ノ場合ニ於テハ法第五十五條ノ適用ナキモノトス (昭和二年  
九月九日附保理第三、二八九號ヲ以テ保險部長ヨリ大阪健康保險署長宛回答)

被保險者資格喪失ノ際傷病手當金ノ支給ヲ受ケル者カ其ノ後之ヲ受ケサルニ至リ更ニ  
其ノ後療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ト傷病手當金

被保險者資格喪失ノ際療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ受ケツツアリシカ其ノ後  
療養ノ給付ノミヲ受クルニ至リ更ニ其ノ後療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ  
至ルモ此ノ場合ニハ傷病手當金ヲ支給セサルモノトス (昭和二年五月五日附ヲ以テ保  
險部大阪出張所長ヨリ神戸製鋼所健康保險組合宛回答)

被保險者資格喪失後繼續療養中ノ齶蝕症以外ノ他齒齶蝕症ニ對スル療養ノ給付

被保險者資格喪失ノ際ヨリ齶蝕症ニ付繼續シテ療養ノ給付ヲ受ケツツアル者カ其  
ノ療養ノ給付中ニ於テ更ニ他齒ノ齶蝕症 (被保險者資格喪失前ヨリ起レルモノ)  
ノ治療ヲ必要トスルモ此ノ後者ノ齶蝕症ハ前者ノ齶蝕症ト同一口腔内ニ在リト雖



患部ヲ異ニシ兩者別個ノモノナルヲ以テ後者ノ齟齬症ニ付テハ法第五十五條ノ規定ノ適用ナキモノトス（昭和三年七月二十三日附保理第一、九〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ長野健康保險署長宛回答）

被保險者資格喪失ノ際自費ヲ以テ療養ヲ爲シ傷病手當金ヲ受ケル者ノ資格喪失後繼續シテ受ケ得ル給付

被保險者資格喪失ノ際自費ヲ以テ疾病ノ療養ヲ爲シ之カ爲勞務ニ服スルコト能ハサルヲ以テ傷病手當金ノ支給ヲ受ケル者ハ資格喪失後繼續シテ傷病手當金ノ支給ヲ受ケ得ルモ療養ノ給付ヲ受ケ得サルモノトス（昭和三年十月二十六日附保理第二、七九二號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜健康保險署長宛回答）

瘵疾ノ程度ニ至リタル爲解雇セラレ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ對スル資格喪失後ノ保險給付

腦ノ疾病ニ罹リ瘵疾ノ程度ニ至リタル爲解雇セラレ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ト雖該疾病ニ付テハ法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ給付ヲ爲スヘキモノトス（昭和三年五月一日附保理第一、一四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ森永製菓塚口工場健康保險組合宛回答）

法第五十五條ノ規定ニ依リ出産手當金ヲ受ケ得ル者（法五〇條。令八〇條）

法第五十五條ノ規定ニ依リ出産手當金ヲ受ケ得ル者ハ分娩ノ日前二十八日又ハ三十五日ヨリ分娩ノ日以後四十二日ノ間ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シ其ノ際出産手當金ノ支給ヲ受ケ得ル状態ニ在ル者ニ限ルモノトス（昭和二年五月三十日附保理第二、二二三號ヲ以テ保險部長ヨリ高知健康保險署長宛回答）

事業ニ使用セラレサル被保險者タリシ者ニ對スル傷病手當金（法四五條）

被保險者ノ資格喪失ノ際傷病手當金ノ支給ヲ受ケル者ニシテ現ニ事業ニ使用セラレサルモノト雖疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル状態ニ在ラハ傷病手當金ヲ支給スヘキモノトス而シテ此ノ場合ニ於ケル勞務ニ服スルコト能ハサル状態ハ被保險者タリシ當時ノ工場又ハ事業場ニ於ケル勞務ニ服スルコト能ハ



ナル状態ト同様ノ程度ノモノヲ謂フ義トス (昭和二年四月二十七日附保理第一、八二九號ヲ以テ保險部長ヨリ日本製鋼所並關健康保險組合宛回答)

法第五十五條ト法第二十條トノ關係 (法二〇條)

法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ給付ヲ受クルコトハ法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリ得ル資格ニ何等關係ナキモノトス尙法第二十條ノ規定ニ依ル被保險二者カ其ノ資格ヲ喪失スル際ニ保險給付ヲ受ケツツアラハ之ニ對シテモ法第五十五條ノ規定ノ適用アルモノトス (昭和二年五月二十四日附ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ株式會社十日立製作所並戸工場健康保險組合宛回答)

法第五十五條該當者カ更ニ健康保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於ケル保險給付

法第五十五條該當者カ更ニ健康保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於テハ法第五十五條ノ規定ニ依ル給付ハ消滅スルモノニシテ此ノ場合ニ右ノ給付ノ原因タル保險事故カ仍繼續シ而モ未タ法定ノ支給期間滿了セサルモノナルトキハ其ノ者ノ屬ス

ル保險者ニ於テ右ノ事故ニ對シ法第五十五條ノ規定ト關係ナク保險給付ヲ爲スヘ

キモノトス (昭和三年六月五日附保理第一、四八七號ヲ以テ保險部長ヨリ北鐵健康保險組合宛回答)

改定標準報酬決定後之カ實施前ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シ法第五十五條ニ依ル繼續給付ヲ受クル者ニ對スル傷病手當金ノ額 (令四條)

改定標準報酬決定後之カ實施前ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ傷病手當金ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ傷病手當金ノ額ハ其ノ者カ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際ニ於ケル標準報酬 (即チ改定前ノ標準報酬) ニ依リ計算スヘキモノトス (昭和二年十一月十一日附保理第三、六七〇號ヲ以テ保險部長ヨリ長野健康保險署長宛回答)

被保險者ノ資格喪失後繼續シテ保險給付ヲ受クル者巡查等ニ就職シタル場合ニ於ケル給付



被保險者ノ資格喪失後法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ保險給付ヲ受クル者カ  
 巡査ニ就職シタル場合ニ在リテモ被保險者トシテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ルカ  
 リシ期間ハ繼續シテ其ノ給付ヲ爲スコトヲ要スルモノトス尙工場法ノ適用ナキ工  
 場ニ使用セララル官吏又ハ公吏ニ就職シタル場合亦同シ (昭和二年四月十六日附保第  
 二、七七七號ヲ以テ保險部長ヨリ愛知時計電機健康保險組合宛回答)

第五十七條

法第五十七條ノ規定ニ依ル給付ニ要シタル費用ノ分擔金 (法五三條。令八三條)

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ對シ法第五十七條ノ規定ニ依リ分擔ニ關スル給  
 付ヲ爲シタル最後ノ保險者ハ施行令第八十三條ノ期間内ニ於ケル前ノ保險者アリ  
 タルトキハ其ノ保險者ニ對シ之カ給付ニ要シタル費用ノ分擔金ヲ請求シ得ルモノ  
 トス (大正十五年八月二十三日附收保第一六號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡鐵山監督局長宛回答)

第五十八條

法第五十八條ノ繼續シテ報酬ヲ受クル場合

法第五十八條ノ「繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クル」トアルハ業務上ノ事由ニ  
 因ル疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ニ報酬ノ全  
 部又ハ一部ヲ受クル場合ヲ含マサルモノトス (昭和二年二月十六日附保理第八五六號ヲ以テ  
 保險部長ヨリ京都健康保險署長宛回答)

疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ支給スル休業手當金ト傷病手當金(令八五條)

職工カ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ賃金ヲ受クルコト能ハサルトキハ休  
 業手當金ヲ支給スル旨ヲ事業主ニ於テ工場ノ就業規則ニ規定シタルトキハ該手當  
 金ハ勞務ノ對價ト認メラレ即チ健康保險ニ所謂報酬ナルヲ以テ法第五十八條ノ規  
 定ニ該當シ施行令第八十五條ノ規定ノ適用アルモノトス (大正十五年十一月十六日附保  
 發第二〇〇號ヲ以テ保險部ヨリ神奈川縣橋本郡旭村森永製菓株式會社第九工場宛回答)

傷病ノ場合ニ傷病手當金ノ額ヲ控除シタル額ノ報酬ヲ受クル場合ト法第五十八條 (令



事業主ハ工場ノ就業規則ニ被保険者傷病手當金ノ支給ヲ受クル期間ハ事業主ニ於テ支給スル報酬ハ常時ニ於ケル報酬ノ額ヨリ右ノ手當金ヲ控除シタル額トスル旨ヲ規定スル場合ニ於テハ法第五十八條ニ該當スルヲ以テ施行令第八十五條ノ規定ノ適用アルモノトス (昭和二年二月一日附保理第三九三號ヲ以テ保理部長ヨリ函館健康保険署長宛回答)

**疾病ノ爲缺勤ノ場合ニ於ケル職員ノ俸給ト傷病手當金トノ關係 (令八五條)**

事業主ニ於テ職員ノ給料支給ニ關スル規定中ニ「職員病氣ノ爲引續キ缺勤スルトキハ缺勤日數九十日迄ハ俸給ノ全額ヲ日割ヲ以テ支給スルヲ原則トシ若其ノ職員カ健康保険ノ被保険者タルトキハ之ヲ適用セサルコトトシ此ノ者ニ對シテハ健康保険ニ於テ受クル傷病手當金又ハ出産手當金ノ額カ前記原則ノ支給額ヨリ小ナルトキハ其ノ差額ヲ支給スルモノトス」ノ旨ヲ定メタル場合ニ於テハ法第五十八條

ノ規定ニ該當シ隨テ施行令第八十五條ノ規定ノ適用アルモノトス (昭和二年一月二十五日附保理第五號ヲ以テ保理部ヨリ北海道室蘭市茶津町四番地株式会社日本製鋼所室蘭工場宛回答)

**疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ賃金等ニ準スヘキ給與其ノ他ノ利益ヲ繼續シテ受クル場合ト傷病手當金又ハ出産手當金 (法二條。令一條、八五條)**

寄宿舎ニ居住セシムルノ利益ニシテ報酬ノ額ノ決定ニ影響アルモノ及食事ノ給與ハ事業主ニ於テ勞務ノ對價トシテ之ヲ與フルモノトセハ健康保険ニ所謂報酬ノ範圍ニ屬スルモノナルカ故ニ被保険者カ疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ勞務ニ服セサル期間ト雖繼續シテ是等ノ利益又ハ給與ヲ受クルトキハ法第五十八條ノ規定ニ該當スルヲ以テ施行令第八十五條ノ適用アルモノトス (大正十五年十二月二十二日附保發第四一四號ヲ以テ保理部ヨリ埼玉縣北足立郡與野町大字上落合九百九十二番地渡邊綱治宛回答)

**事業主ヨリ無料又ハ廉價ニテ食事ヲ受クル場合ト傷病手當金トノ關係 (法二條、令一條、**



八五條)

職工就業規則等ニ於テ被保險者タル職工傷病又ハ分娩ノ爲休業スル場合健康保險ノ傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給ヲ受クルトキハ事業主カ當該被保險者ヨリ食費ノ全部又ハ一部ヲ徴スル旨ヲ規定セル場合ニ於テモ事實上休業中繼續シテ事業主ヨリ無料又ハ廉價ニテ食事ノ供給ヲ受クルモノトセハ傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給ニ付テハ法第五十八條ノ規定ニ依ルヘキモノトス (昭和四年六月十八日附發第三二四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長宛通牒)

**疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ支給スル休業扶助料ト傷病手當金 (法二條)**

職工カ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ報酬ヲ受クルコト能ハサルトキニ工場法ニ基ク休業扶助料ノ支給ヲ受クルモ該扶助料ハ健康保險ニ所謂報酬ニ非サルヲ以テ法第五十八條ノ規定ニ該當セサルモノトス (大正十五年十一月十六日附發第二〇〇號ヲ以テ保險部ヨリ神奈川縣橋本郡旭村森永製菓株式會社第九工場宛回答)

**被保險者ノ内職等ニ依ル収入ト法第五十八條 (法二條)**

被保險者ノ内職等ニ依ル収入ニ付テハ法第五十八條ノ適用ナキモノトス (昭和二年五月十七日附發第二、〇六八號ヲ以テ保險部長ヨリ天滿織物城北工場健康保險組合宛回答)

**公休手當ト法第五十八條 (法二條。令一條)**

公休手當ハ報酬ノ範圍ニ屬スルモ之ヲ受クルコトヲ得ル者ハ法第五十八條ニ所謂繼續シテ報酬ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ニ該當セサルモノトス (昭和三年十二月十三日附發第二、八七九號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長宛回答)

**法第四十五條但書ノ待期間ニ於ケル食事ノ給與 (法二條。令一條)**

法第四十五條但書ノ待期間ニ事業主カ報酬ノ範圍ニ屬スル食事ヲ給與スルコトアルモ此ノ待期間ノ傷病手當金ハ支給スヘキモノニ非サルヲ以テ右ノ食事ノ給與ハ健康保險ト關係ナキモノトス (昭和二年四月十五日附發第八一二號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ片倉經路健康保險組合宛回答)







法第六十一條ヲ適用スルト否トハ事故發生ノ都度當該事故ニ付テノミ決定スヘキモノトス (昭和三年三月二十九日附保理第六五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ三好健康保險組合宛回答)

法第六十一條ノ適用決定者

法第六十一條ノ規定ニ該當スル事故ニ付テハ傷病手當金ノ全部ヲ支給セサルカ又ハ一部ヲ支給セサルカノ區別及一部ヲ支給セサルコトトスルモ其ノ程度等ハ保險者ニ於テ適當ニ判斷決定スヘキモノトス (昭和二年九月一日附保理第三、二、三號ヲ以テ保險部長ヨリ大日本炭礦高峯健康保險組合宛回答)

業務上ノ事由ニ因ル負傷ト法第六十一條ノ適用 (法四五條)

業務上ノ事由ニ因ル負傷ニ付テモ法第六十一條ノ規定ノ適用ヲ妨クルモノニ非サルモノトス (昭和三年十月四日附保理第二、五、六、九號ヲ以テ保險部長ヨリ磐城炭礦健康保險組合宛回答)

闘争又ハ泥酔ニ因リ生セシメタル事故ノ意義

法第六十一條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトヲ得ル事故タル闘争又ハ泥酔ニ因リ生セシメタル事故トハ闘争又ハ泥酔ニ因リ其ノ際生セシメタル事故ヲ謂フモノトス (昭和二年四月二十七日附保理第一、九、五、六號ヲ以テ保險部長ヨリ服部横田健康保險組合宛回答)

鑛石等ノ運搬車ニ人ノ便乗ヲ禁セシニ拘ラス無斷ニテ該運搬車ニ便乗シ之カ爲事故ヲ生セシメタル場合ト法第六十一條ノ適用

鑛山ニ於テ專ラ鑛石其ノ他ノ物品ノ運搬用トスル運搬車(軌道ヲ通スルモノ)ニ人ノ便乗ハ危険ナルヲ以テ絶對ニ之ヲ禁止セルニモ拘ラス無斷ニテ該運搬車ヲ引出シテ之ニ乗リ之カ爲事故ヲ生セシメタル場合ハ法第六十一條ニ所謂業務上ノ監督者ノ指揮ニ従ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルニ該當スルヲ以テ同條ニ依リ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルモ可ナルモノトス但シ之カ決定ニ付テハ充分審議スヘキコトハ勿論トス (昭和二年十月二十七日附ヲ以テ保險部長大阪出賣所長ヨリ尾小屋鑛山健康保險組合宛回答)



法第六十一條ノ適用ニ依リ傷病手當金半額ヲ受ケツツアル間ニ他ノ事故タル疾病ノ爲  
勞務ニ服スルコト不能トナリタル場合ニ於ケル傷病手當金額 (法四五條)

被保險者法第六十一條ノ適用ヲ受ケ傷病手當金半額ヲ受ケツツアル間ニ他ノ事故  
タル疾病ニ罹リ之カ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ (非入院ノ場合ト  
ス) 其ノ期間右ノ二事故ヲ通シテ傷病手當金全額ヲ支給スルモノトス (昭和二年十  
二月十三日附保理第三、八〇五號ヲ以テ保險部長ヨリ足尾銅山健康保險組合宛回答)

人車ニ依リ坑内ヲ昇降スヘキコトヲ遵守セサル爲生シタル事故ニ付傷病手當金不給ノ  
旨豫メ揭示スルコトノ當否

人車ニ依リ坑内ヲ昇降スヘキコトヲ遵守セシテ生シタル事故ニ付テハ傷病手當  
金ノ全部ヲ支給セラレサルコトアルヘキ旨ヲ災害豫防ノ爲又ハ被保險者ノ心得ノ  
爲組合ニ於テ被保險者ニ對シ揭示シ豫メ注意ヲ爲シ置クハ別段違法ニ非ス (昭和三  
年三月二十九日附保理第六五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ三好健康保險組合宛回答)

職工就業規則中酒氣ヲ帶ヒテ就業スヘカラサル旨ノ規定ト飲酒ニ因リテ生セシメタル  
事故第六十二條第一項第一號ノ該當期間

職工就業規則ニ「酒氣ヲ帶ヒテ就業スヘカラス」ト規定シアル場合ニ於テ飲酒シテ  
就業ト事故ヲ生セシメタルトキハ飲酒ノ結果泥酔ノ程度ニ至ラザリシモノト雖右  
前事故ヲ生セタルコトカ飲酒ニ因ラシモノトセハ法第六十一條ノ「故意ト危害豫  
志藥効中藥毒或ハ毒藥ヲ指揮モ從ハザル」因リ事故ヲ生セシメタルトキ」ニ該當スル

モノトス (昭和三年四月三十日附保理第一、二〇三號ヲ以テ保險部長ヨリ服部櫻田健康保險組合宛回  
答)

法第六十二條第一項第一號ノ該當期間

法第六十二條第一項第一號ニ該當ノ期間トハ徵集又ハ召集ニ應シ陸海軍ノ軍隊ニ  
在ル期間ノヨリ謂フ義ニシテ出發又ハ歸着ノ際ノ旅行日數ハ之ヲ含マサルモノトス



ス（昭和二年四月九日附保理第一、三三四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及各健康保險組合宛通牒  
但シ小野田セメント本社健康保險組合ニ對シテハ保險部大阪出張所長ヨリ回答）

**法第六十二條第一項第一號ノ「召集」ノ意義**

法第六十二條第一項第一號ノ「召集」トアルハ其ノ時期ノ平時タルト戰時タルトヲ  
問ハス又其ノ時期ノ一定タルト不定タルトヲ問ハサルモノトス（昭和三年七月三日附  
保理第一、三八八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ豊田織機健康保險組合宛回答）

**法第六十二條第一項第一號ノ「召集」ト簡閱點呼ノ參會**

簡閱點呼ニ參會スルコトハ法第六十二條第一項第一號ノ「召集」ニ該當セサルモ  
ノトス（昭和三年七月三日附保理第一、三八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ豊田織機健康保險組合宛回答）

**法第六十二條第一項第二號ニ該當ノ始期及終期**

法第六十二條第一項第三號ニ該當ノ始期ハ日本（但シ植民地ヲ除ク）ノ領海（陸地

ヨリ三海里迄ノ水面）ヲ出タル時ニシテ之カ終期ハ右ノ領海ニ入りタル時トス但  
シ傷病手當金及出産手當金ノ支給停止並保險料ノ免除ニ付テハ該當ノ始期ハ右ノ  
領海ヲ出テタル日ノ翌日（右ノ領海ヲ出テタル時カ當日ノ午前零時ナルトキハ當  
日）ニシテ之カ終期ハ右ノ領海ニ入りタル當日（右ノ領海ニ入りタル時カ當日ノ  
午後十二時ナルトキハ翌日）トス（法第六十二條第一項第一號、第三號及第四號  
ニ付テモ本件ト同様ノ趣旨ニ依リ解スヘキモノトス）（昭和二年八月二日附保理第二、七〇  
八號及同月二十九日附保理第二、七〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ神奈川健康保險局長宛回答）

**法第六十二條第一項第四號ト行政執行法ニ依ル檢束處分ヲ受ケタル場合**

法第六十二條第一項第四號ニハ行政執行法ニ依ル檢束處分ヲ受ケ警察官署ニ止メ  
置カレタル場合ヲ含マサルモノトス（昭和二年八月二十四日附保理第三、一四三號ヲ以テ保險  
部長ヨリ東京市電氣局健康保險組合宛回答）

**法第六十二條第一項該當中ノ者死亡シタル場合ニ於ケル給付（法四九條）**



去來法第六十三條第三項ニ該當申方者ハ雖死亡シタル場合ニ於テハ埋葬料又ハ埋葬費ハ之ヲ支給スルモノトス (昭和二年二月五日附保理第四九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜健康保險署長宛回答)

甲町村在住ノ被保險者乙町村ノ傳染病院ニ入院シ療養費用ヲ徴セラレタル場合ト療養費ヲ支給スルニ依リテ (令七二條)

甲町村ニ在住ノ被保險者カ傳染病豫防法ニ依リ乙町村ノ傳染病院ニ收容セラレ且乙町村ノ定ムル規定ニ依リ療養費用ヲ徴セラレタルトキハ該費用ヲ組合ニ於テ療養費トシテ當該被保險者ニ支給スヘキモノトス (昭和三年十月三十日附保理第二、八〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ北嶺健康保險組合宛回答)

傳染病院入院患者タル被保險者ノ看護費用自辨ト療養費ノ支給 (令七二條)  
市町村方其ノ傳染病院、隔離病舎等ニ於ケル傳染病患者ノ看護ニ要スル費用ヲ患者ハ負擔タルコトニ規定スル場合ニ在リテハ斯カル病院、病舎等ニ收容セラレタ

ル被保險者ノ看護ニ要シタル費用ハ保險者ニ於テ療養費トシテ支給シ差支ナキモノトス (昭和三年七月二十日附庶務第七一號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ愛媛健康保險署長宛回答)  
傳染病等ニ罹患シタル被保險者ノ看護ニ要スル費用ハ該被保險者ノ負擔トス (昭和三年四月二十四日附保理第五二〇號ヲ以テ保險部ヨリ福岡縣小倉市砂津

東京製鋼株式会社小倉工場宛回答)  
傳染病院等ニ收容セラレタル被保險者ノ附添人ノ費用  
傳染病院等ニ收容セラレタル被保險者ノ收容セラレタル間ノ附添人ノ費用ハ當該被保險者ノ負擔トス (昭和三年四月二十四日附保理第五二〇號ヲ以テ保險部ヨリ福岡縣小倉市砂津

被保險者タル傳染病患者カ鑛山附屬病院ニ入りタル場合ニ於ケル費用ノ負擔者  
傳染病患者一時ニ發生シ町ノ隔離病舎滿員ナルヲ以テ町當局ニ於テ被保險者タル傳染病患者ヲ町ノ隔離病舎ニ收容セス鑛山附屬病院ニ入ラシメタリ此ノ場合右ノ鑛山附屬病院ニ入ラシメタルコトカ傳染病豫防法ニ基キタルモノトセハ之カ費用ハ町ノ負擔ニ屬スルモノニシテ然ラサルモノトセハ保險者ノ負擔ニ屬スルモノト



ス（昭和四年三月十三日附保理第六一四號ヲ以テ保險部長ヨリ北海道夕張郡夕張町長宛回答）

傳染病院、精神病院、結核療養所等ニ收容セラルル前又ハ收容セラレ退院、退所等ノ後ニ於ケル療養ノ給付（法四三條）

傳染病、精神病又ハ結核病ノ患者タル被保險者ニ付テハ其ノ者カ傳染病豫防法、精神病院法又ハ結核豫防法ニ依リ傳染病院、隔離病舎若ハ隔離所、精神病院又ハ結核療養所ニ收容セラルル間ハ法第六十二條第二項ノ規定ニ該當スルヲ以テ療養ノ給付ヲ爲ササルモノナルモ未タ收容セラレサル前又ハ收容後退院、退舎又ハ退所シタル後ニ於テハ右ノ規定ニ該當セサルヲ以テ療養ノ給付ヲ爲スノ要アルモノトス（昭和二年五月十三日附保發第一六五號ヲ以テ保險部長ヨリ香川健康保險署長宛回答）

傳染病ニ罹リタル者自宅ニ於テ治療ヲ爲ス場合ト保險給付（法四三條）

傳染病ニ罹リタル場合ト雖傳染病院等ニ收容セラレス自宅ニ於テ治療ヲ爲ス場合ニ於テハ健康保險ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スモノトス（昭和二年二月二十一日附保理第五

九七號ヲ以テ保險部長ヨリ秋田縣仙北郡大曲町健康保險醫寺邑丹治宛回答）

精神病患者監護法ニ依リ市區町村長ヨリ監護ヲ受ケル被保險者ト法第六十二條第二項

（法四三條）

第六十三條

精神病患者タル被保險者カ精神病患者監護法第六條又ハ第八條ノ規定ニ依リ市區町村長ヨリ監護ヲ受ケ自己ニ於テ療養ヲ爲スモ法第六十二條第二項ノ規定ニ該當セサルモノトス尙保險者ハ精神病患者タル被保險者ニ對シ療養ノ給付ヲ爲ス義務アルモ監護ヲ爲ス義務ナキモノトス（昭和二年五月十二日附保發第一六五號ヲ以テ保險部長ヨリ香川健康保險署長宛回答）

被保險者タル結核患者ノ結核療養所ノ入所

被保險者タル結核患者ハ健康保險法ノ規定ニ依ル療養ノ給付ヲ受ケ得ル限リハ大體ニ於テ療養ノ途アルモノト認メラルルニ付結核療養所ニ入所セラレサルモノトス但シ健康保險ニ於ケル結核ニ對スル醫療設備ノ有無、適否等ニ依リ場合ニ於テ



治療費給付の額は、昭和四年二月二十二日附保連第二、八九三號  
ヲ以テ保險部長ヨリ愛知健康保險局長宛回答）

**傳染病患者タル被保險者ノ入院選擇權**

被保險者カ傳染病ニ罹リ法定傳染病ト診定セラレタル場合ニ於テ市町村ノ經營ス  
ル傳染病院若ハ隔離病舎ニ收容セラルルヤ又ハ醫師ノ經營スル傳染病院等ヲ選擇  
シテ入院シ得ルヤハ傳染病豫防法令ニ依ルモノニシテ此ノ場合ニ於テ市町村長又  
ハ傳染病豫防委員ニ於テ認容シタルトキハ被保險者ハ醫師ノ經營スル傳染病院等  
ヲ選擇シテ入院シ得ルモノトス（昭和三年七月九日附保連第一、五二四號ヲ以テ保險部長ヨリ  
取健康保險局長宛回答）

**第六十三條**

**第六十三條ノ「療養ニ關スル指揮」トハ保險醫ニ於テ被保險者ニ對シテ爲ス指**

導及保險者ニ於テ直接被保險者ニ對シテ爲ス指揮ヲ謂フモノニシテ尙療養ノ給付  
ニ代ヘテ療養費ヲ支給スル場合ニ於テハ保險醫師ニ非テハ醫師又ハ齒科醫師ニ於  
テ爲ス指揮ヲモ含ムモノトス（昭和二年九月三十日附保連第三、四七五號ヲ以テ保險部長ヨリ  
林野子健康保險組合宛回答）

**被保險者カ保險醫ノ指示ニ背キテ勞務ニ服シタル場合ト法第六十三條ノ適用**

保險醫ニ於テ勞務ニ服スヘカラサル旨ヲ指示シタルニ拘ラス被保險者カ勞務ニ服  
シタル場合ニ於テハ其ノ勞務ノ輕重ヲ問ハス又勞務ニ依リテ收入ヲ得タルト否ト  
ヲ問フ又法第六十三條ヲ適用シ妨クナキモノトス（昭和二年九月二十九日附保連第三、四  
一號ヲ以テ保險部長ヨリ東京市電氣局健康保險組合宛回答）

**被保險者カ任意ニ療養ヲ爲シタル場合ト法第六十三條トノ關係（法四五條）**

被保險者カ健康保險ノ療養ノ給付ヲ受クルノ外ニ自己ノ負擔ヲ以テ醫師若ハ齒科  
醫師又ハ是等以外ノ者ニ依リテ療養ヲ爲スコトハ被保險者ノ任意ナルカ故ニ此ノ



場合ニ於ケル傷病手當金ニ付テハ法第六十三條ヲ適用スヘキモノニ非サルモノトス  
(昭和二年三月二十八日附保理第一、〇一八號ヲ以テ保険部長ヨリ三共健康保険組合宛回答)

**保険醫ノ任意變更ト法第六十三條ノ適用** (令七五條)

保險者ノ承認ヲ受ケスシテ保險醫ヲ變更スル者ノ如キハ法第六十三條ニ所謂「療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者」ニ該當セサルモノトス (昭和三年五月二十五日附保理第一、三六六號ヲ以テ保険部長ヨリ川崎造船所健康保険組合宛回答)

**第六十四條**

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者カ第三者ヨリ治療費ヲ受クルコトト法第六十四條トノ關係 (法六七條)

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付テ被保險者カ第三者ヨリ治療費ヲ受クルト雖保險給付ヲ受ケ得ル權利ヲ有スルヲ以テ之カ權利ヲ行使スルハ詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ非ス從テ法第六十四條ニ該當セサルモノトス (昭和二年十月十二日附

保理第三、五四四號ヲ以テ保険部長ヨリ淺野セメント川崎工場健康保険組合宛通牒)

被保險者資格取得ノ動機不純ナル者ノ受ケムトシタル給付ト法第六十四條ニ所謂詐欺其ノ他不正ノ行爲

健康保險ノ被保險者ト爲ラハ豫テ罹レル疾病ニ付無料ニテ入院治療ヲ受クルノ途アリト聞キ工場法適用工場ニ使用セラレ被保險者ノ資格ヲ取得シ以テ入院ノ承認申請及傷病手當金支給ノ請求ヲ爲セリト雖右ノ資格取得カ眞ニ使用關係ノ成立ニ基キタルモノナリトセハ此ノ入院及傷病手當金ヲ受ケムトスルコトハ法第六十四條ニ所謂詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ該當セサルモノトス (昭和三年十月三十日附保理第二、七七七號ヲ以テ保険部長ヨリ茨城健康保険署長宛回答)

**第六十七條**

保險者ノ第三者ニ對スル求償權ト被保險者ノ意思  
第三者ノ不法行爲カ民法ノ規定ニ照シ成立スルモノナルトキハ保險者ノ第三者ニ



對スル損害賠償請求權ハ被保險者ノ意思如何ニ拘ラス存立スルモノトス。 (昭和二年十二月二十八日附錄第二八八八號ヲ以テ東京健康保險部長宛書簡所長ヨリ株式會社日立製作所笠戸工場健康保險組合宛回答)

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者力第三者ヨリ賠償ヲ受ケタル場合ト保險給付

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者力保險給付ヲ受ケタル場合ニ於テハ保險者ハ

當該被保險者ニ對シ保險給付ヲ爲スコトヲ要スルモノトス。 (昭和二年九月二十七日附錄第九〇號ヲ以テ東京健康保險部長宛回答)

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者力第三者ヨリ賠償ヲ受ケタル場合ト保險者ノ第三者ニ對スル損害賠償權

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者力保險給付ヲ受クル前ニ第

三者ヨリ賠償ヲ受ケタル第三者ニ對シ賠償免除ヲ爲シタル場合ニ於テハ保險者ハ

第三者ニ對シ損害賠償請求權ヲ有セサルモノトス。 (昭和三年九月二十七日附錄第九〇號ヲ以テ東京健康保險部長宛回答)

被保險者力給付ヲ受ケツツアル間ニ第三者ヨリ賠償シタル場合ニ於ケル保險者ノ第三者ニ對スル求償權

被保險者力第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル事故ニ付保險給付ヲ受ケツツアル間ニ

第三者ヨリ損害賠償ヲ受ケタル場合ニ於テハ賠償ヲ受ケタル時以前ノ保險給付ニ付テノミ保險者ハ第三者ニ對シ損害賠償請求權ヲ取得スルモノトス。 (昭和三年十月二十二日附錄二七四九號ヲ以テ東京健康保險部長宛回答)

第六十七條ノ「給付ノ償額ノ限度」ノ意義

第六十七條ノ「給付ノ償額ノ限度」トハ保險給付ニ實際要シタル費用額ヲ謂フ義



第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付爲シタル給付費用損害賠償金ト法第十一條ノ徵收金（法一一條）

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付爲シタル給付費用損害賠償金ハ法第

十一條ニ所謂徵收金ニ該當セサルヲ以テ其ノ取立ヲ市町村ニ對シ囑託スヘカラサ

ルモノトス（昭和三年四月十九日附保第二九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長宛通牒）

第七十一條

政府又ハ公共團體ノ事業ニ使用セラルル被保險者ニ關スル保險料ニシテ會計ノ主體ヲ異ニスル場合ニ於ケル國庫出納金端數計算法適用

政府又ハ道府縣市町村其ノ他大正五年勅令第二百九號第一條ノ公共團體ノ事業ニ使用セラルル被保險者ニ付テ一事業主ノ納付スル保險料ニシテ會計ノ主體ヲ異ニスル場合（即チ或事業ニ於テ一般會計ノ支辨ニ屬スル被保險者ト特別會計ノ支辨ニ屬スル被保險者ト兩者アル場合ノ如シ）ニ於テハ國庫出納金端數計算法ノ適用

ハ各會計別ニ之ヲ爲スヘキモノトス（昭和二年六月八日附發保第六五號ヲ以テ內務大臣官

ヨリ各省次官、内閣書記官長、北海道廳長官、警視總監、各府縣知事、各健康保險署長及各健康保險組合

宛通牒）

政府又ハ公共團體ノ事業ニ使用セラルル被保險者ニ關スル保險料ニ付テノ國庫出納金端數計算法ノ適用

政府又ハ道府縣市町村其ノ他大正五年勅令第二百九號第一條ノ公共團體ノ事業ニ使用セラルル者タル健康保險ノ被保險者ニ關スル保險料中中被保險者ノ負擔スル部分ヲ事業主カ被保險者ニ對シ支拂フ報酬ヨリ控除スル場合ニ於テハ各被保險者ニ付テ國庫出納金端數計算法ヲ適用スルコトハ勿論ナルモ事業主カ保險料ヲ保險者ニ納付スル場合ニ於テハ右ニ依リ各被保險者ニ付國庫出納金端數計算法ヲ適用シタル額ト事業主ノ負擔部分トノ合計額ヲ納付スルモノニ非スシテ事業主ノ納付スル保險料ノ全額（即チ事業主ノ負擔部分ト被保險者ノ負擔部分トヲ合算シタル額）



第三 三付テ右法律ヲ適用シタル額ヲ納付スヘキモノトス (昭和二年六月八日附法律第六五號ヲ以テ内務大臣官署ヨリ各省次官、内閣書記官長、北海道廳長官、各府縣知事、各健康保險局長及警備隊長官宛通牒)

第七十二條

被保險者資格存続中ト保險料 (法七六條)

被保險者ノ資格ノ存スル間ノ保險料ハ法第七十六條各號ノ一ニ該當スル場合ノ外ハ之ヲ徴收セサルヘカラサルモノトス (昭和二年八月十八日附法律第二、六六四號ヲ以テ保險部長ヨリ明電令健康保險組合宛回答)

工場ノ公休日ト保險料ノ負擔 (法七六條)

保險料ハ被保險者タル間ハ工場ノ公休日ト雖之ヲ負擔スル義務アルモノトス即チ大ノ月ナレハ三十一日分、小ノ月ナレハ三十日分、二月ハ二十八日分又ハ二十九日分ヲ負擔スル義務アルモノトス但シ傷病手當金ノ支給ヲ受クル期間等ハ負擔スルノ義務ナキモノトス (昭和二年三月十一日附法律第一、一七九號ヲ以テ保險部監理課ヨリ東京府東京市東區中ノ郷藥事町二十八番地藤田平吉宛回答)

使用關係發生後數日ヲ經テ現實ニ業務ニ服シタル力爲其ノ間賃金ヲ受ケサル場合ト保險料ノ負擔義務 (法七六條、一三條)

法律上使用關係ノ發生シタル者即チ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ハ其ノ日ヨリ數日後ニ至リ現實ニ業務ニ服シタル爲其ノ間賃金ヲ受ケザルモ保險料ヲ負擔スヘキモノトス (昭和三年八月七日附法律第四八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ富士製鐵健康保險組合宛回答)

被保險者力收人ノ途ナキ場合ト保險料ノ負擔義務 (法四七條)

被保險者カ疾病又ハ負傷ニ付法第四十七條ノ規定ニ依ル期間傷病手當金ノ支給ヲ受ケタルモ其人ノ疾病又ハ負傷カ治癒セス之カ療養ノ爲仍勞務ニ服セザルニ由リ收入ノ途ナキ状態ニアリト雖被保險者タル間ハ保險料ヲ負擔スルノ義務アルモノトス (昭和三年九月一日附法律第三、二四〇號ヲ以テ保險部長ヨリマツダ健康保險組合宛回答)

健康保險法 第七十二條

健康保險法 第七十二條

健康保險法 第七十二條



**被保険者死亡當日ノ保険料** (法七七條)

被保険者死亡シタル場合ニ於テハ死亡時刻ノ如何ニ拘ラス當日ハ仍被保険者ノ資格ヲ有スルモノナルヲ以テ其ノ日ノ保険料ハ徴收スヘキモノトス (昭和二年二月十九日附保理第八四六號ヲ以テ保険部長ヨリ東京計器健康保険組合宛回答)

**被保険者資格喪失後ト保険料ノ負擔義務** (法五五條)

被保険者ノ資格喪失後ハ法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ給付ヲ受クルト否トニ拘ラス被保険者タリシ者及其ノ者ノ事業主タリシ者ハ保険料ヲ負擔スルノ義務ナキモノトス (昭和二年八月十二日附ヲ以テ保険部大阪出張所長ヨリ東陶健康保険組合宛回答)

**勞務供給請負人ト保険料ノ負擔義務** (令九條)

勞務供給請負人ハ事業主ノ負擔スヘキ保険料ヲ負擔スルノ義務ナキハ勿論被保険者ノ負擔スヘキ保険料ヲモ負擔スヘキ義務ナキモノトス (昭和二年八月十三日附保理第二、八六〇號ヲ以テ保険部長ヨリ東京鋼材健康保険組合宛回答)

**借受ニ係ル鑛區ニ依リテ爲ス事業ニ使用セラルル被保険者ノ保険料ノ負擔及納付ノ義務者** (法七七條)

他人ノ鑛區ヲ借受ケテ事業ヲ爲ス者即チ所謂斤先人ハ健康保険ニ於ケル事業主ニ非サルヲ以テ斯クノ如キ事業ニ使用セラルル被保険者ノ保険料ノ負擔及納付ハ鑛業權者ニ於テ爲スヘキモノトス (昭和二年一月二十七日附保理第四九一號ヲ以テ保険部長ヨリ滋賀健康保険局長宛回答)

**事業主ノ負擔スル保険料ト所得稅トノ關係** (所得税法四條、十四條、所得税法施行規則七條)

事業主ノ負擔スル保険料ハ事業主法人タル場合ニ在リテハ所得税法第四條第一項ニ依リ各事業年度ノ總益金ヨリ控除スヘキ總損金ニ該當シ又事業主個人タル場合ニ在リテハ同法第十四條第一項第六號ニ依リ前年中ノ總收入金額ヨリ控除スヘキ必要ノ經費即チ同法施行規則第七條ニ規定スル收入ヲ得ルニ必要ナル經費ニ該當



スルモノトス。八昭和二年七月九日附保費率第二、九四九號ヲ以テ大蔵次官ヨリ社會局長官宛宛答）  
 二并リマハ同法第十四條第一項第六號ニ於テ前項中ノ「應入金額」ニ對シテ「應納スヘキ」  
 二對シテ各該第七十四條ニ對シテ「應納スヘキ」額出金ニ對シテ「應納スヘキ」額又事業主個人ノ「應納」  
 事業主ノ「應納」スル額對シテ「事業主個人ノ」額合ニ并リマハ「前項」對シテ第十四條第一項

**法第七十四條第二項ノ趣旨**（令九五條）

法第七十四條第二項ノ趣旨ハ同條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ保険料ヲ徵收  
 スルコトヲ要スル事業ノ事業主ノ負擔タルヘキ趣旨トス即チ施行令第九十五條第  
 二項但書ノ規定ニ依リ業務ノ種類ニ從ヒ異ル保険料率ヲ定メタル場合ニ於テ被保  
 險者ノ負擔スヘキ保険料額ニシテ法第七十四條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル  
 モノアルトキハ當該事業ノ事業主ニ於テ超過部分ヲ負擔シ又保險料率ヲ一般のニ  
 高メタル爲之カ保險料額カ右規定ニ依ル制限ヲ超ユルトキハ全部ノ事業主ニ於テ  
 超過部分ヲ負擔スヘキ趣旨トス（昭和二年三月二十日附保費率第六四六號ヲ以テ保險部長ヨリ長  
 野健康保險署長宛宛答）

**第七十六條**

**法第七十六條ト事業主ヨリ徵收スル保險料トノ關係**

法第七十六條ノ場合ニ於テハ事業主ヨリモ保險料ヲ徵收セサルモノトス

**法第五十八條ノ規定ニ依リ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部ヲ受ケサル場合ト此ノ期  
 同ニ於ケル保險料**（法五八條）

法第五十八條ノ場合ニ於テ繼續シテ受クル報酬ハ傷病手當金又ハ出産手當金ニ代  
 ハルヘキモノト認メラルルヲ以テ同規定ニ依リ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部  
 ヲ受ケサル場合ト雖法第七十六條第一號ニ該當スルモノトス故ニ其ノ期間ノ保險  
 料ハ之ヲ徵收セサルモノトス（大正十五年十二月十日附保費率第三五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ長  
 野健康保險署長宛宛答）



法第四十五條但書ノ待期間ト保険料 (法四五條)

法第四十五條但書ノ待期間ハ傷病手當金ヲ支給セサルヲ以テ其ノ期間ノ保険料ハ之ヲ徴收スルモノトス (昭和二年二月五日附保理第七一三號ヲ以テ保險部長ヨリ東京府東京市本所區横綱町一丁目二十番地江東工業會宛回答)

傷病手當金ノ全部又ハ一部ノ支給ヲ停止シタル場合ニ於ケル保険料 (法六一條、七一條)

被保險者闘争、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ依リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ保險事故ヲ生シタル場合ニ於テ傷病手當金ノ全部ヲ支給セザリシ場合ニ於テハ保險料ヲ徴收シ又傷病手當金ノ一部ヲ支給サセル場合ニハ保險料ヲ徴收セサルモノトス (昭和四年七月一日附保理第一、八五五號ヲ以テ保險部長ヨリ大阪健康保險署長宛回答)

工場法ニ基ク休業扶助料ヲ受クル場合ト保険料

工場法ニ基ク休業扶助料ノ如キハ之ヲ健康保險ノ傷病手當金又ハ出産手當金ニ代ハルヘキモノト認メ得サルヲ以テ被保險者ハ傷病手當金ヲ受ケスシテ此ノ休業扶助料ヲ受クルモ之カ爲保險料ノ負擔義務ヲ免ルルコトヲ得サルモノトス (大正十五年十二月十日附保發第三五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岩手健康保險署長宛回答)

第七十七條

事業主ノ納付スヘキ保険料額 (法七八條)

事業主ハ被保險者ニ支拂フ報酬ヨリ控除シタル被保險者ノ負擔スル保險料ノ額ノ如何ニ拘ラス保險料全額ノ納付義務アルモノトス (昭和二年一月二十四日附保理第二一

八號ヲ以テ保險部長ヨリ愛知健康保險署長宛回答)

健康保險法 第七十六條。第七十七條



被保険者資格取得届ノ遅延ニ係ル被保険者ノ保険料 (則一〇條)

被保険者資格取得届ノ遅延ニ係ル被保険者ト雖此ノ者ニ關スル保険料ハ實際ニ被  
保險者ノ資格ヲ取得シタル日ヨリノ分ヲ事業主ヨリ徴收スヘキモノトス (昭和二年  
一月十五日附保理第二一七號ヲ以テ保険部長ヨリ釧路健康保険署長宛回答)

事業主力被保険者ニ對シ支拂フヘキ報酬ナキ場合又ハ報酬ヲ支拂フモ保険料ヲ控除シ

得サル場合ニ於ケル保険料納付ノ義務 (法七八條)

事業主ハ被保険者ニ對シ支拂フヘキ報酬ナキ爲保険料ヲ控除シ能ハサル場合又ハ  
報酬ヲ支拂フモ保険料ヲ控除シ得サル場合ト雖被保険者ノ負擔スル保険料ハ之ヲ  
保險者ニ納付スヘキ義務アルモノトス (昭和二年二月十四日附保理第五七八號ヲ以テ保険部  
長ヨリ東京毛織大垣健康保険組合宛回答)

被保険者資格喪失者ニ關スル保険料 (法一八條。七八條。令九八條)

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ關スル保險料ニシテ事業主ニ於テ當該被保險者  
タリシ者ニ支拂フ報酬ヨリ控除シ得サル場合ト雖事業主ハ之ヲ組合ニ納付スヘキ  
額定義務アルモノトス (昭和二年二月十八日附保理第六九六號ヲ以テ保険部長ヨリ東京毛織南千住健康  
保險組合宛回答)

第七十八條

事業主力被保險者ニ對シ支拂フ報 ヨリ控除スル保険料ノ控除ト他ノ控除金ノ控除ト  
ノ前後 (令九八條)

事業主力被保險者ニ對シ支拂フ報酬ヨリ保險料ヲ控除スル場合ニ於テ該保險料ノ  
控除ヲ他ノ控除金ニ先チテ爲スヤ否ヤハ一ニ事業主ノ任意トス (昭和二年二月十四日  
附保理第五七八號ヲ以テ保険部長ヨリ東京毛織大垣健康保險組合宛回答)

被保險者ノ受クル傷病手當金ト保險料ノ控除 (法四五條)



傷病手當金ハ事業主カ支給スヘキモノニ非スシテ保險者カ支給スヘキモノナリ而シテ保險者ノ支給スル傷病手當金ノ現金ヲ事業主カ被保險者ニ對シ取次キテ交付スルコトアリトスルモ事業主ハ健康保險法上當然ニハ該傷病手當金ヨリ被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ控除スルコトヲ得サルモノトス（昭和二年四月十八日附保理第一、八〇三號ヲ以テ保險部長ヨリ淺野セメント川崎工場健康保險組合宛回答）

第八十條

法第八十條ノ審査請求者

健康保險組合又ハ地方長官ハ法第八十條ノ審査ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

健康保險審査會決定ノ效力（法八一條、八二條）

健康保險審査會ニ於テ爲シタル審査ノ決定カ確定シタルトキハ當該事件ノ當事者即チ審査ヲ請求シタル者及保險給付ノ決定ヲ爲シタル健康保險署長又ハ健康保險

組合ヲ羈束スルノ效力ヲ有スルモノトス（昭和二年十月五日附發保第九七號ヲ以テ社會局長官ヨリ健康保險署長、健康保險組合、第一次健康保險審査會會長、第二次健康保險審査會會長及第三次健康保險審査會會長宛回答）

健康保險審査會ノ決定ニ不服アル爲通常裁判所ニ出訴スル場合ニ於ケル被告

第二次健康保險審査會ノ爲シタル保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者カ通常裁判所ニ訴ヲ提起スル場合ニ於ケル被告タルヘキ者ハ保險者カ政府ナルトキハ國ニシテ健康保險組合ナルトキハ其ノ組合タルモノトス而シテ被告ノ代表ハ國ナルトキハ其ノ主務官廳タル内務大臣又ハ其ノ指定官吏、組合ナルトキハ其ノ組合ノ理事長タルモノト思考セラル（昭和二年十月二十五日附民事第八、五四二號ヲ以テ司法次官ヨリ社會局長宛回答）

第八十二條

法第八十二條ノ審査ノ效力

法第八十二條ノ規定ニ依ル健康保險審査會ノ審査ハ保險官署ニ於テ爲ス訴願ノ裁



決り拘束スル效力ナキモノトス  
法第八十六條ノ三十三日以内ノ日數ト郵便遞送日數  
法第八十六條ノ三十三日以内ノ日數ト郵便遞送日數ヲ算入セサル  
モノナル關係上法第八十六條ノ三十三日以内ノ日數ニハ郵便遞送日數ヲ算入セサル  
モノト認ムヘキモノトス (昭和二年八月六日附保理第二、九九九號ヲ以テ保險部長ヨリ山口健康保  
險署長宛回答)

第八十六條  
法第八十六條ノ三十三日以内ノ日數ト郵便遞送日數 (訴願法八條、一〇條)

法第八十六條ニ於テ準用スル訴願法第八條ノ期間内ニ郵便遞送日數ヲ算入セサル  
モノナル關係上法第八十六條ノ三十三日以内ノ日數ニハ郵便遞送日數ヲ算入セサル  
モノト認ムヘキモノトス (昭和二年八月六日附保理第二、九九九號ヲ以テ保險部長ヨリ山口健康保  
險署長宛回答)

適法ノ期限ヲ經過シテ爲シタル審査ノ請求ト健康保險審査會ノ決定 (令一一七條。訴願法  
八條)

適法ノ期限ヲ經過シテ爲シタル審査ノ請求ト雖之ヲ以テ直チニ無効ト認ムルハ妥  
當ナラサルモノニシテ請求期限經過後ノモノト雖宥恕スヘキ事由アリト認メ之ヲ  
受理スヘキヤ又ハ適法ノ手續ニ違反シタルモノトシテ却下スヘキヤハ一應健康保  
險審査會ニ於テ決定スヘキモノトス (昭和二年八月六日附保理第二、九九九號ヲ以テ保險部長  
ヨリ山口健康保險署長宛回答)



健康保險法施行令



附則 第五項 第一條  
施行令第一條ノ常時又ハ定期ニ受クル給與ノ意義

施行令第一條ノ常時又ハ定期ニ受クル給與ノ意義

施行令第一條ノ「常時又ハ定期ニ受クル給與」トアルハ事業ニ使用セラレル者カ普通ノ場合ニ於テ常時又ハ定期ニ受クル給與トス故ニ入坑ヲ普通トセサル者カ臨時入坑シ入坑手當金ヲ受クルモ此ノ手當金ハ健康保險法ニ謂フ報酬ノ範圍ニ屬セサルモノトス

食料ノ廉價購買ノ利益ト報酬 (法二條)

被保險者カ事業主ヨリ食料ヲ廉價ニテ購買スル利益ニシテ勞務ノ對償ト認ムヘキモノハ賃金等ノ額ノ決定ニ影響アルト否トニ拘ラズ賃金等ニ準スヘキモノノ範圍ニ屬スルモノトス (大正十五年十一月六日附保理第一三二號ヲ以テ保險部長ヨリ岩手健康保險局長ニ發スル勅令)



勞務ノ對價トシテ事業主ヨリ供給ヲ受クル食事ト報酬 (法二條)

事業ニ使用セララル者カ勞務ノ對價トシテ事業主ヨリ供給ヲ受クル食事ハ健康保險ニ所謂報酬ノ範圍ニ屬スルモノトス (昭和二年六月三十日保理第二、七〇〇號ヲ以テ保險部ヨリ三重縣鈴鹿郡關町石川組中村製絲所保險掛宛回答)

職工ノ賄ト報酬中給料等ニ準スルモノ (令五條)

工場ニ於テ寄宿セル職工ノ賄ヲ工場主カ是等ノ職工全體ニ月額十六圓(職工一人ニ付)ヲ以テ請負ハシメ而シテ此ノ十六圓ノ中六圓ヲ職工ニ負擔セシメ殘十圓ヲ工場主ニ於テ負擔スルモノノ如キハ此ノ工場主ニ於テ負擔スル部分ハ施行令第一條ノ「其ノ他ノ利益」ニ該當スルモノトス故ニ報酬日額ハ之ヲ加算シテ算定スヘキモノトス(大正十五年十月二十八日附保發第八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ千葉健康保險署長宛回答)

報酬ト年末賞與

健康保險ニ所謂報酬ニハ年末賞與ヲ含マサルモノトス(大正十五年十二月四日附保發第二

五三號ヲ以テ保險部長ヨリ函館健康保險署長宛回答)

毎月受クル皆勤賞ト報酬

毎月受クル皆勤賞ハ健康保險ノ報酬ノ範圍ニ屬スルモノトス (昭和二年三月十一日附保理第一、一七九號ヲ以テ保險部監理課ヨリ東京府本所區中ノ郷業平町二十八番地塚田平言宛回答)

毎年一月、四月、七月及十月ニ支給スル賞與ト報酬ノ範圍

會社カ其ノ使用スル者ニ對シ給料ヲ支給セスシテ其ノ代リ賞與ヲ支給スルコトトシ其ノ賞與ハ會社ノ拂込濟資本額ニ對シ年一割迄ノ利益アルトキハ年額六百六十四圓ヲ年二割迄ノ利益アルトキハ年額七百八十圓ヲ、年三割以上ノ利益アルトキハ年額千圓ヲ毎年一月、四月、七月及十月ニ分テテ支給スルカ如キ制度ハ即チ三月ヲ超エサル期間毎ニ支給スル賞與ナルヲ以テ健康保險ニ所謂報酬ノ範圍ニ屬スルモノトス殊ニ年額六百六十圓ノ賞與ハ會社カ拂込濟資本額ニ對シ利益ナキ場合ニ於テモ支給スルモノトセハ名義及支給期間ノ如何ニ拘ラス之ヲ給料ト看做スヘ



キ等ノト女(昭和二年二月二十二日附保第七一七號ヲ以テ保險部長ヨリ秋田健康保險局長宛回答)

家族手當金ト報酬

毎月支給スル家族手當金ハ健康保險ニ於ケル報酬ノ範圍ニ屬スルモノトス(昭和二年一月三十一日附保第五三四號ヲ以テ保險部長ヨリ服部櫻田健康保險組合宛回答)

獨身職夫合宿所ニ於ケル世話料、坑外運搬責任者ニ給與スル捨硬函數ニ對スル手當及坑内運搬夫責任者ニ給與スル坑内繰込手當ト報酬 (法二條)

獨身職夫合宿所ニ於ケル世話料坑外運搬人夫ノ責任者ニ給與スル捨硬函數ニ對スル手當、坑内運搬人夫ノ責任者ニ給與スル坑内繰込手當ノ如キハ施行令第一條ニ所謂「常時ニ受クル給與」ニ該當スルモノトス (昭和二年十月十一日附保第三、五〇五號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣遠賀郡香月村大辻岩屋炭礦株式會社總務部會計係宛回答)

當宿直料ト報酬 (法二條)

工場又ハ事業場ニ於ケル當宿直料ハ當宿直者カ執務時間外工場又ハ事業場ノ取締ニ任スルカ爲事業主ヨリ受クルモノニシテ法第二條ニ所謂「勞務ノ對價」ニ該當スルモノト認テラレ而シテ之ヲ常時的ニ支給ヲ受クル場合ニ於テハ健康保險ノ報酬ニ包含セラレヘキモノトス (大正十五年十二月二十六日附保發第二五六號ヲ以テ保險部長ヨリ熊本縣熊本市熊本電氣株式會社宛回答)

第二條

施行令第二條第三項ニ依リ別段ノ定ヲ爲シ得ヘキ事項

施行令第二條第三項ノ規定ニ依リ規約ヲ以テ定メ得ヘキ別段ノ規定トハ賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ給與其ノ他ノ利益ノ標準價格ニ關スル事項ニ限ルモノトス (大正十五年十二月二十二日附保發第四一號ヲ以テ保險部長ヨリ埼玉縣北足立郡奥野町大字上落合九百九十二番地渡邊綱治宛回答)

第三條

健康保險法施行令 第二條。第三條



報酬ヲ受ケサル被保險者ノ標準報酬

工場法適用工場ニ使役セララル者ニシテ報酬ヲ受ケサル被保險者ノ標準報酬日額

ハ三十錢トス故ニ之カ等級ハ第一級トス (昭和三年一月三十日附庶務第九二號ヲ以テ保險部

大阪出張所長ヨリ滋賀健康保險局長宛回答)

工場ニ於テ數人ノ被保險者ノ報酬ヲ一人ノ被保險者ノ報酬ト看做シテ支給スル場合ト

報酬日額 (法一三條、令五條)

職工カ其ノ妻又ハ子女ヲ常時工場ニ伴ヒ自己ノ手傳トシテ業務ニ從事セシムルト

キハ其ノ妻又ハ子女ハ工場ニ使用セララル者ト謂フヘク随テ被保險者ノ資格ヲ有

スル者ナルカ故ニ工場ニ於テ右ノ職工ノ稼高ト其ノ妻又ハ子女ノ稼高トヲ合シ之

ヲ右ノ職工一人ノ稼高ト看做シテ該職工ニ支給スルト雖報酬日額ハ是等ノ者各別

ニ定ムヘキモノトス (大正十五年十一月十九日附庶務第二二二號ヲ以テ保險部長ヨリ千葉健康保險

局長宛回答) 業員ニ於テハ當官直轄ノ當官直轄ノ労働者又ハ事業場ノ車

第四條

六月二日ヨリ同月三十日迄ニ資格ヲ取得シタル被保險者ノ標準報酬有効期間

施行令第四條第一項ノ場合ニ於テ六月二日ヨリ同月三十日迄ノ間ニ於テ被保險者

ノ資格ヲ取得シタル者ノ標準報酬ハ翌年六月三十日迄其ノ效力ヲ有スルモノトス

六月一日ニ資格ヲ取得シタル被保險者ノ標準報酬決定

施行令第四條第一項ノ場合ニ於テ六月一日ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ付

テハ其ノ日ノ現在ニ依リ其ノ日ヨリ其ノ年六月三十日迄有効ノ標準報酬ヲ決定ス

ルノ外其ノ年七月一日ヨリ翌年六月三十日迄有効ノ標準報酬ヲモ決定スヘキモノ

トス

標準報酬ノ決定現在日後有効期間開始日前ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ對スル  
傷病手當金又ハ出産手當金ノ額六(法四五條、五五條、五〇條)



標準報酬決定現存日より六月一日ヲ経過セシ場合ト雖新標準報酬ノ有効期間開  
始日ハ七月一日前ニ被保険者ノ資格ヲ喪失スル者ニ付テハ新標準報酬決定

ハ當然消滅スヘキモノナリ故ニ七月一日以降ノ傷病手當金ト雖被保険者タリシ當

時ノ標準報酬(即チ從來ノ標準報酬)ニ依リ計算スヘキモノトス出產手當金ニ付テ

モ亦同シ(昭和二年九月二十三日附保理第三、四一〇號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡健康保險署長宛回答)

改定標準報酬決定後之ヲ實施前ニ任意繼續被保険者ト爲リタル者ノ標準報酬ハ改定

六月改定標準報酬決定後之ヲ實施前ニ法第三十條ノ規定ニ依ル被保険者ト爲リタル者

ノ標準報酬ハ從來ノ標準報酬ニ依ルモノニシテ改定ノ標準報酬ニ依ルモノニ非ス

(昭和二年十一月十一日附保理第三、六七號〇號ヲ以テ保險部長ヨリ長野健康保險署長宛回答)

標準報酬ノ變更ヲ爲スヘキ場合

施行令第四條第二項ノ規定ニ依リ標準報酬ノ變更ヲ爲スヘキ場合ハ報酬ノ増加又

ハ減少カ繼續的(増給、減給等ノ如シ)ナル場合ニ限ルモノトス (昭和二年四月十八日

附保理第七七四號ヲ以テ保險部長ヨリ新潟健康保險署長宛回答)

第五條

勞務供給契約ニ基キ使用セラルル者タル被保険者ノ報酬日額 (令九條)

勞務供給契約ニ基キ使用セラルル者タル被保険者ノ報酬日額ハ被保険者カ勞務供

給者ニ對シテ現ニ受クル報酬ノ額ニ依リ算定スルモノトス

施行令第五條ノ三月間及一年間ノ意義

施行令第五條第一項第四號ノ「三月間」及同項第五號ノ「一年間」トアルハ曆ニ依リ

テ計算シタル期間ヲ謂フモノトス例ヘハ第四號ノ場合ニ於テ標準報酬決定ノ日ヲ

十一月一日トセバ其ノ年八月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル期間ヲ六月一日トセ

ハ其ノ年三月一日ヨリ五月三十一日ニ至ル期間ヲ謂フ又第五號ノ場合ニ於テ標準

報酬決定ノ日ヲ十一月一日トセバ前年十一月一日ヨリ其ノ年十月三十一日ニ至ル

施行期間定ムル如シ(大正十五年八月五日附理第一一號ヲ以テ保險部長ヨリ某炭礦鑛業代理人宛回答)



施行令第五條ノ其ノ地方ノ範圍

施行令第五條第一項第四號但書ハ「其ノ地方」ノ範圍ハ種々ノ場合ニ於テ社會通念

ニ依リ決スルノ外ナキモトス（大正十五年八月二十三日附保第一六號ヲ以テ保險部長ヨリ福

岡山監督局長宛回答、昭和二年五月十三日附保第二二五二號ヲ以テ某工場事務所宛回答）

施行令第五條ノ同様ノ作業ノ意義

施行令第五條第一項第四號但書ノ「同様ノ作業」トハ被保險者カ工場又ハ事業場ニ

於テ使用セラルル業務ノ種類ノ同シキモノヲ謂フモノトス例ヘハ旋盤工ト旋盤

工、採炭夫ト採炭夫ノ如シ（大正十五年八月二十三日附保第一六號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡

山監督局長宛回答）

施行令第五條ノ同様ノ報酬ノ意義

施行令第五條第一項第四號但書ノ「同様ノ報酬」トアルハ日又ハ時間ヲ以テ報酬ヲ

定ムル場合ニ於テハ一日又ハ一時間ノ報酬額カ一致スルモノ、稼高又ハ請負ヲ以

テ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ稼高又ハ請負ノ一定分量當リノ報酬額カ一致スルモ

ノヲ謂フモノトス（大正十五年八月二十三日附保第一六號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡山監督局長

宛回答、昭和二年五月十三日附保第二二五二號ヲ以テ保險部長ヨリ某工場事務所宛回答）

第七條

施行令第七條ノ同様ノ給付ノ意義

施行令第七條第二項第一號ノ「同様ノ給付」トアルハ健康保険法ノ規定ニ依ル給付

タル療養、療養費、傷病手當金、埋葬料、埋葬費、分娩費、出産手當金、産院收

容及助産ノ手當ニ相當スル種類ノ給付ヲ謂フモノトス

施行令第七條ノ給付ニ要スル費用ノ意義

施行令第七條第二項第二號ノ「給付ニ要スル費用」トアルハ健康保険ノ被保險者ニ

對シテ爲ス保險給付ニ相當スル給付ニ要スル費用トス



第九條

施行令第九條ノ所定ノ期間ノ意味

施行令第九條ノ「所定ノ期間」トアルハ契約シテ定メタル期間ヲ謂フモノトス

施行令第九條ノ勞務供給契約ノ範圍

施行令第九條第二號ノ勞務供給契約ニハ事業本來ノ作業ノ請負契約ヲモ含ム

施行令第九條第一項第二號前段及第三號該當者ノ被保險者ト爲ル場合

施行令第九條第一項第二號前段及第三號該當者ハ連續シテ三十日間勞務ニ服シ仍引續キ勞務ニ服シタルトキハ被保險者ノ資格ヲ取得スルモノトス尙此ノ場合ニ於テ工場又ハ事業場ニ於ケル公休日ハ勞務ニ服シタルモノト看做シ右ノ日數ノ計算ニ加フルモノトス（昭和三年三月三十日附保理第三〇二號ヲ以テ東京健康保險署長

施行令第九條第一項第二號後段該當者ノ被保險者ト爲ル場合

施行令第九條第一項第二號後段該當者ハ使用ケラルルニ至リタル日ヨリ三十日間ヲ超エ引續キ勞務ニ服シタルトキハ被保險者ノ資格ヲ取得スルモノトス（昭和三年三月三十日附保理第三〇二號ヲ以テ東京健康保險署長宛同答）

人夫供給者ノ手ヲ經テ雇入レラルル者ト被保險者（令九條）

人夫供給者ノ手ヲ經テ日々雇入レラルル者ノ中同一人カ三十日ヲ超エテ引續キ雇入レラルル場合ニ於テハ其ノ者ハ右ノ三十日ヲ超エタル日ヨリ被保險者タルモノトス（昭和二年二月五日附保理第七一三號ヲ以テ東京府東京市本所區横綱町一丁目二十番地江東工業會宛同答）

工場法適用前ヨリ使用セラルル者ニシテ使用期間ノ定メナキ者又ハ試ニ使用セラルル者ノ被保險者ト爲ル條件タル期間ノ起算日（法二三條）



若し工場法適用前ヨリ工場ニ使用セラレル者ニシテ使用期間ノ定ナキ者又ハ試ニ使用  
 工段セラレル者ト雖其ノ使用セラレルニ至リタル日ヨリ三十日ヲ超エテ引續キ使用セ  
 ラルルニ至リタルトキハ被保険者ト爲ルモノトス即チ右ノ三十日ノ期間ハ工場法  
 適用ノ日ヨリ起算スヘキモノニ非サルモノトス (昭和三年十月二十三日附保理第二、七  
 八二號ヲ以テ保険部長ヨリ副井健康保険局長宛回答) 三十日マシムル日ヨリ起算スルモノトス

**第十三條**

事業主ノ名稱變更ト組合ノ名稱變更トノ關係 (法三六條。規約例二條)

事業主ノ名稱變更セララルト雖組合ノ名稱ハ當然變更セララルモノニ非ス即チ組  
 合ノ名稱ノ變更ハ規約變更ノ手續ヲ要スヘキモノトス (昭和三年五月十日附保理第一、二  
 九四號ヲ以テ保険部長ヨリ三菱内務省名古屋健康保険組合宛回答)

**第十四條**

組合ノ保険料率ノ認可 (令四九條)

組合ノ保険料率ハ當初認可ヲ受ケタルモノヲ變更セサル限リハ毎年度更メテ認可  
 ヲ受ケタルコトヲ要セサルモノトス

**第十六條**

組合ノ規約變更ノ公示者 施行令第十六條後段ノ規定ニ依ル組合ノ規約變更ノ公示ハ理事ニ於テ之ヲ爲スモ

ノトス

**規約變更公示ノ時期**

規約變更ノ公示ハ變更ノ認可アリタル後ニ於テ之ヲ爲スモノトス (昭和三年二月九日

健康保険法施行令 第十三條。第十四條。第十六條

一五五



附保理第一九一號ヲ以テ保險部長ヨリ北越健康保險組合宛回答  
行政區劃變更等二件フ規約ノ記載更訂ト公示 (規約例三條、四條)

市町村ノ廢置分合、境界變更、大字名改稱、地番變更其ノ他行政區劃ノ變更アリ

於テ規約中右ノ事項ヲ更訂シタルトキハ即チ規約變更アリタルモノナルヲ以テ理

事ハ施行令第十六條後段ノ規定ニ依リ遲滯ナク公示スヘキモノトス (昭和三年三月

十五日附保發第一五三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒)

第十五日附保發第一五三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒)

第十五日附保發第一五三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒)

第十八條

理事職務執行者ノ代理人

組合ニ於テ理事就職ニ至ル迄ノ理事職務執行者タル事業主ニ付テハ代理人ヲ置キ

得ヘキ事ヲ認メタル規定ナキヲ以テ事業主自ラ理事ノ職務ノ執行ニ當ルベキモ

昭和二年一月十三日附保理第二九五號ヲ以テ保險部ヨリ東京府南葛飾郡大島町六丁目五十番

地東京鋼材株式會社常務取締役松田貞治郎宛回答

第二十條

事業主タル組合會議員

組合ニ於テ事業主カ其ノ事業主自身ヲ組合會議員ニ選定スル場合ニ於テ事業主法

人ナルトキハ該法人其ノモノヲ選定スルモノナルヲ以テ此ノ場合ノ議員ハ法人ノ

名稱ト同一ノ名稱ノモノトス (昭和二年二月二日附保發第九九號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保

險組合宛通牒)

組合ノ設立アル事業ニ使用セラルル者タル組合ノ選定議員カ事業ニ使用セラレサルニ

至リタル場合ノ議員ノ資格 (法二七條)

組合ニ於テ組合ノ設立アル事業ニ使用セラルル者カ事業主ヨリ選定ヲ受ケ議員ト

爲リタル後其ノ事業ニ使用セラレサルコトト爲リタルトキハ當然議員ノ資格ヲ失



フモノトス其ノ事業ニ勤労スルモノニシテハ當然議員ノ資格アリ

組合ノ互選議員カ被保険者タラサルニ至リタル場合ノ議員ノ資格 (法二七條)

組合ニ於テ被保険者タル組合員ヨリ互選セラレタル議員カ被保険者タラサルニ至リタルトキハ當然議員ノ資格ヲ失フモノトス

組合ノ設立アル事業ノ事業主變更ノ場合ト舊事業主ニ於テ選定シタル議員ノ資格

健康保険組合ノ設立アル事業ノ事業主ニ變更アリタル場合ト雖舊事業主ニ於テ選定シタル議員ノ資格ハ其ノ儘存続スルモノトス但シ議員ハ其ノ職ヲ辭スルコトヲ

妨ケサルモノトス (昭和三年十一月二十七日附保理第二八五號ヲ以テ保険部長ヨリヤマサ健康保険組合宛回答)

組合ノ組合會議員ノ選舉ト刑法施行法第二十五條トノ關係 (刑法施行法二五條)

組合ノ組合會議員ノ選舉ニ付テハ刑法施行法第二十五條ノ規定ニ依ル舊刑法第二

編第四章第九節ノ規定ハ適用アルモノト思考セララル (昭和二年二月二十八日附刑事第九

八號) 六三號ヲ以テ司法次官ヨリ社會局長官宛回答)

五 被保險者タル組合會議員カ工場轉勤ノ場合ト組合會議員ノ資格 (法一三條、一五條、一七

條・一八條)

組合會議員タル被保険者カ同一事業主ノ甲ノ工場又ハ事業場ヨリ乙ノ工場又ハ事

業場ニ轉勤シタル場合ニ於テハ被保険者ノ資格ハ甲ノ工場又ハ事業場ニ於テ一旦

喪失シ乙ノ工場又ハ事業場ニ於テ更ニ取得スルモノナルカ故ニ組合會議員ノ資格

モ甲ノ工場又ハ事業場ニ於テ被保険者ノ資格喪失ト同時ニ失フモノトス (昭和二年

四月六日附保理第九四八號ヲ以テ保険部長ヨリ各健康保険組合宛通牒但シ保険部大阪出張所分掌區域内ノ

組合ニ對シテハ保険部大阪出張所長ヨリ通牒)

選舉ニ依ル議員ノ就職日ト選舉執行ノ日 (規約例九條、一七條)

健康保險法施行令 第二十條、第二十一條



選挙選挙ニ依リ議員ノ就職ノ日ト選挙執行ノ日トハ必スシモ一致スヘキモノニ非ス即チ當選者ノ當選辞退申立期間ヲ規約ニ規定スル組合ニ在リテハ當選承諾ノ旨ヲ申出テタル場合ニ在リテハ其ノ日ヲ以テ議員ニ就職シタルモノト見ルヘク又當選承諾ノ旨ヲ申出テサル場合ニ在リテハ右ノ當選辞退申立期間満了ノ日ノ翌日ヲ以テ議員ニ就職シタルモノト看做スヘキモノトス但シ任期ハ總選挙ノ日ヨリ起算スヘキコトハ勿論トス (昭和二年十二月八日附保發第一〇四號ヲ以テ保發部長ヨリ各健康保険組合宛通牒) (但書ハ互選議員ノ任期ヲ總選挙ノ日ヨリ起算スル旨ヲ規約ニ規定スル組合ヲ指シタルモノナリ)

新選議員ノ小計合第一二四條 (昭和二年三月二十四日附保發第一〇四號ヲ以テ保發部長ヨリ各健康保険組合宛通牒)

互選議員力選出セラレタル選挙區以外ノ選挙區ニ轉シタル場合ト議員ノ資格 (規約例第八條) 六三號ヲ以テ保發部長ヨリ各健康保険組合宛通牒

互選議員力選出セラレタル選挙區以外ノ選挙區ニ轉スルト雖斯カル場合ニ議員タ

ル資格ヲ喪失スヘキ旨ヲ規約ニ規定ナキトキハ其ノ者ハ依然トシテ議員タルモノトス (昭和三年二月六日附保發第二五九號ヲ以テ保發部長ヨリ日本毛織名古屋工場健康保険組合宛通牒)

議員ノ總選挙執行ノ日 (規約例第九條) 互選議員ノ任期ヲ總選挙ノ日ヨリ起算スル旨ヲ規約ニ規定スル組合ニ在リテハ互選議員任期満了ノ爲ノ總選挙ハ任期満了ノ翌日以後ニ非サレハ之ヲ執行シ得サルモノトス (昭和二年十二月八日附保發第一〇四號ヲ以テ保發部長ヨリ各健康保険組合宛通牒)

組合會議員ノ任期ト理事ノ任期トカ同シキ場合ニ於ケル理事ノ任期満了ノ日 (規約例第九條。三四條) 組合會議員ノ任期ト理事ノ任期ト同シキモノニシテ議員ノ總選挙ヲ爲シタル日ヨリ後レテ理事ノ選挙ヲ爲シタルモノニ在リテハ理事ノ任期ノ最終日ト議員ノ任期満了ノ日ト一致セサルコトトナルモ此ノ場合ニ於テハ理事ノ任期ハ議員ノ任期満了ノ日ヲ以テ満了スルモノト解スヘキモノトス (昭和二年三月二十四日附保發第一〇四號)

健康保険法施行令 第二十四條



規約ヲ變更シ議員又ハ理事ノ任期ヲ延長シタル場合ト現任ノ議員又ハ理事ノ任期（規約例第九條）

規約ヲ變更シ議員又ハ理事ノ任期ヲ從來ヨリモ長期間ニ變更シタルトキハ現任ノ議員又ハ理事ノ任期ハ當然延長セラレタルモノトス（昭和三年五月四日附收保第四四四號ヲ以テ保險部長ヨリ三井山野健康保險組合宛回答）（但シ現任ノ議員又ハ理事ノ任期ハ從來

ノ規定ニ依ル旨ヲ規約ニ規定シタル場合ハ任期延長セサルコト勿論タリ）

事業主ノ職制變更ト組合ノ組合會議員選舉區名稱變更トノ關係（法三六條）

事業主ノ職制變更セラルルト雖組合ノ組合會議員選舉區ノ名稱ハ當然變更セラル

ルモノニ非ス即チ組合會議員選舉區ノ名稱變更ハ規約變更ノ手續ヲ要スヘキモノトス（昭和三年五月十日附保第一二九四號ヲ以テ保險部長ヨリ三菱内務省古健康保險組合宛回答）

第二十五條

事業報告及決算ニ關スル組合會ノ議決ノ意義

施行令第二十五條ノ「議決」トアルハ同條第二號ノ事項タル事業報告及決算ニ付テ

第二十六條

施行令第二十六條ノ事項ヲ組合會ニ付議スル發案權

施行令第二十六條ノ規定ニ依リ組合ノ事務ニ關スル書類ノ檢閲、理事ニ對シ報告

ノ請求若ハ組合ノ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ノ檢査ヲ爲スコト又ハ議員中委員ヲ選舉シテ右ノ事項ヲ行ハシムルコトヲ組合會ノ會議ニ付スル發案權ハ理事之

有スルモノニ非スシテ組合會自身カ之ヲ有スルモノトス（昭和二年三月二日附保發

第二〇〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒但シ保險部大阪出張所分掌區域内ノ組合ニ對シテハ保險部大阪出張所長ヨリ通牒）



第二十九條

施行令第二十九條但書ノ意義 (令三二條)

施行令第二十九條ノ但書ハ定足數ヲ得テ會議ヲ開キタル後ニ於テ第三十二條ノ除斥ノ爲其ノ定足數ヲ缺クルコトアルモ之カ爲會議ノ續行ヲ妨ケサルコトヲ規定シタルモノトス

施行令第二十六條第三十條

組合會議長ノ議員トシテノ議決權 (令二八條)

組合ノ組合會ノ議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十二條

施行令第三十二條ノ一身上ノ範圍

組合組合會議員ノ當選ノ效力異議申立決定ノ會議ニ於テ該事件ノ當選者タル議員ハ其ノ事件ニ付施行令第三十二條ノ「一身上ニ關スル事項」ニ該當スルモノトス

第三十三條

組合會議員ノ表決委任方法

組合會ノ會議ニ出席スルコト能ハサル議員カ出席議員ニ表決ヲ委任スル場合ニ於テ會議ノ目的タル事項ニ對スル賛否ヲ受任者ノ任意ト爲スコトニ委任スルモ違法ニオラザルモノトス

委任表決議員アル組合會ノ會議ニ於ケル急施事項付議 (令二七條、二九條)

出席議員ニ委任シテ表決ヲ爲ス議員アル組合會ノ會議ニシテ其ノ會議ハ委任表決ヲ爲ス議員ヲ定足數ニ加ヘタルカ爲開會シ得タルモノナルトキハ開會中急施ヲ要スル事項アリト雖之ヲ該會議ニ付議スルコトヲ得サルモノトス



組合會議員ノ職務執行ト民法ノ能力ニ關スル規定 (令三二條)

組合會議員ノ職務執行上ノ行爲等ニ付テハ法令ニ何等ノ明文ナキヲ以テ民法ノ能力ニ關スル規定ハ適用ナキモノトス (大正十五年十一月十日附保發第一八〇號ヲ以テ保險部

長ヨリ栃木縣下都賀郡日光町古河電氣工業株式會社日光電氣精銅所中鉢常吉宛回答)

第三十六條

組合ノ理事ノ選舉

理事ノ選舉ヲ組合會タル機關ニ於テ執行スルハ違法トス (昭和二年二月二十四日附保發第一八三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒)

組合ノ理事力議員タラサルニ至リタルキノ理事ノ資格

組合ノ理事力議員タラサルニ至リタルトキハ當然理事ノ資格ヲ失フモノトス

組合ノ理事ノ選舉ト刑法施行法第二十五條トノ關係 (刑法施行法二五條)

組合ノ理事ノ選舉ニ付テハ刑法施行法第二十五條ノ規定ニ依ル舊刑法第二編第四

章第九節ノ規定ハ適用アルモノト思考セラレ (昭和二年二月二十八日附刑事第九六三號ヲ

以テ司法次官ヨリ社會局長宛回答)

組合ノ理事長ノ選舉

理事長ノ選舉ヲ組合會タル機關ニ於テ執行スルハ違法トス (昭和二年二月二十四日附保

發第一八三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒)

組合ノ理事長力選定議員タラサルニ至リタルトキノ理事長ノ資格

組合ノ理事長力選定議員タラサルニ至リタルトキハ當然理事長ノ資格ヲ失フモノトス

組合ノ理事長ノ選舉ト刑法施行法第二十五條トノ關係 (刑法施行法二五條)

組合ノ理事長ノ選舉ニ付テハ刑法施行法第二十五條ノ規定ニ依ル舊刑法第二編第四章第九節ノ規定ハ適用アルモノト思考セラル (昭和二年二十八日附刑事第九六三號ヲ以



以下可決次官より社會局長宛宛答(昭和二一年二月二十八日附保理第五九二號ヲ以テ保險部長ヨリ旭紡織仙臺工場健康保險組合宛宛答)

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス

第三十八條

組合ノ理事長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲理事トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハサルモノトス



第四十五條

施行令第四十五條ノ毎會計年度ノ意義

施行令第四十五條第一項ノ「毎會計年度」トアルハ次年度以降ノ毎會計年度ヲ謂フ  
モノトス但シ同項後段ノ場合ニ於テハ然ラズ

組合ノ豫算ノ各項金額流用ニ關スル組合會ノ議決

組合ノ豫算ノ各項金額流用ニ關スル事項ハ豫メ組合會ノ包括議決ヲ經ルモ敢テ違  
法ニアラサルモノトス

豫算ノ種目ノ豫算額ノ流用

同一項内ノ各種目ノ豫算額ヲ彼此流用スルハ理事限り之ヲ爲シ得ヘキモノトス

(昭和二年二月十七日附保理第七六八號ヲ以テ保理部長ヨリ入山健康保險組合宛宛回答)

豫算ノ費用流用及豫備費充當ヲ爲シ得ルハ支出閉鎖期限迄即チ翌年度四月十五日

迄トス (昭和三年一月二十四日附保發第一一號ヲ以テ保理部長ヨリ各健康保險組合宛通牒但シ保發事大  
陸合 阪出所分掌區域内ノ組合ヲ除ク)

繰越金及繰入金ト收入支出豫算 (則三四條)

繰越金又ハ繰入金ハ收入支出豫算ニ必スシモ計上セサルヘカラサルモノニ非ス又

準備金繰入ヲ豫算ニ計上スルハ既ニ積立テタル準備金ヲ支出ニ充テムトスルモノ

ニ限ルモノトス (昭和二年二月十日附保理第六八一號ヲ以テ保理部長ヨリ日本製鋼所室蘭健康保險  
組合宛回答)

組合ノ缺損金ノ翌年度繰越

組合ノ缺損金ヲ翌年度ニ繰越スカ如キコトハナキモノトス (昭和二年六月三日附ヲ以テ  
保發事大 阪出所長ヨリ株式会社日立製作所笠戸工場健康保險組合宛回答)

組合ノ豫算額ノ第四十六條

健康保險法施行令 第四十五條、第四十六條 一七一